

いすみ市国民健康保険 第2期データヘルス計画

平成30年1月
いすみ市

第1章 計画策定について		
1. 背景		3
2. 計画期間		3
3. 基本方針		4
4. データヘルス計画の位置づけ		5
5. 実施体制・関係者連携		5
第2章 現状と課題把握		
1. 保険者の特性把握		6
(1) 基本情報		6
(2) 医療費等の状況		8
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		9
① 特定健康診査		9
② 特定保健指導		11
(4) 介護保険の状況		13
(5) 主たる死因の状況		17
2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)		19
(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況		19
3. 医療情報分析結果		21
(1) 基礎統計		21
(2) 高額レセプトの件数及び医療費		22
① 高額レセプトの件数及び割合		22
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向		23
(3) 疾病別医療費		25
① 大分類による疾病別医療費統計		25
② 中分類による疾病別医療費統計		27
4. 保健事業実施に係る分析結果		34
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析		34
(2) 特定健康診査に係る分析		35
(3) 特定保健指導に係る分析		37
(4) 健診異常値放置者に係る分析		39
(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析		41
(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析		43
(7) 受診行動適正化に係る分析		47
(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析		50
(9) 薬剤併用禁忌に係る分析		52
(10) 服薬情報に係る分析		54
5. 分析結果に基づく健康課題の把握		56
(1) 分析結果		56
(2) 分析結果に基づく課題とその対策		59
第3章 保健事業実施計画		
1. 各事業の目的と概要一覧		61

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度の6年間とする。

■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

3. 基本方針

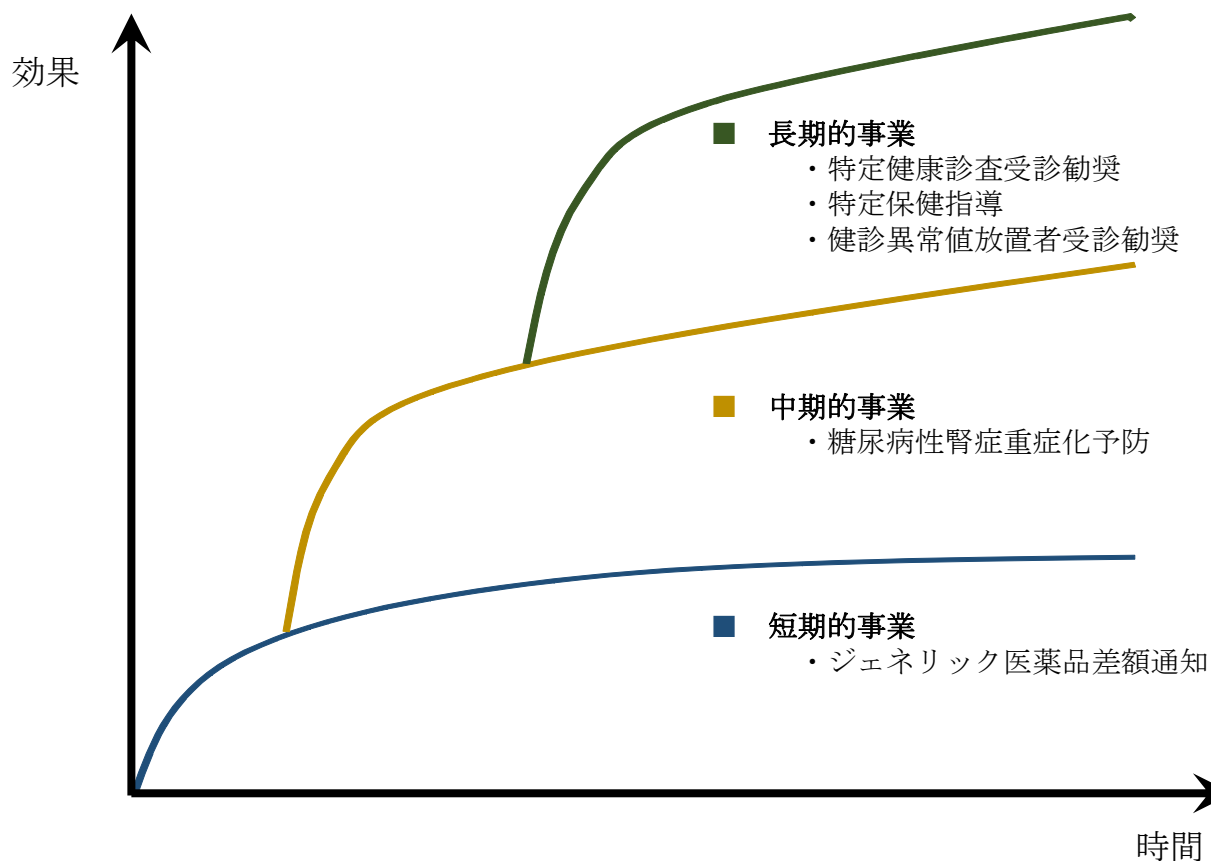
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業をいすみ市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



4. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「健康ちば21(第2次)」、「いすみ市国民健康保険事業計画」及び「いすみ市国民健康保険特定健康診査等実施計画」と整合性を図る。

5. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。

また、医師会、栄養士会等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用を行い、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ
単年分析
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

※医療費分解技術(特許第4312757号)	レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
※傷病管理システム(特許第5203481号)	レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。
※レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)	中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

本市の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は38.3%であり、県との比較で1.7倍、同規模との比較で1.3倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は13,026人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は33.2%である。国民健康保険被保険者平均年齢は54.3歳である。

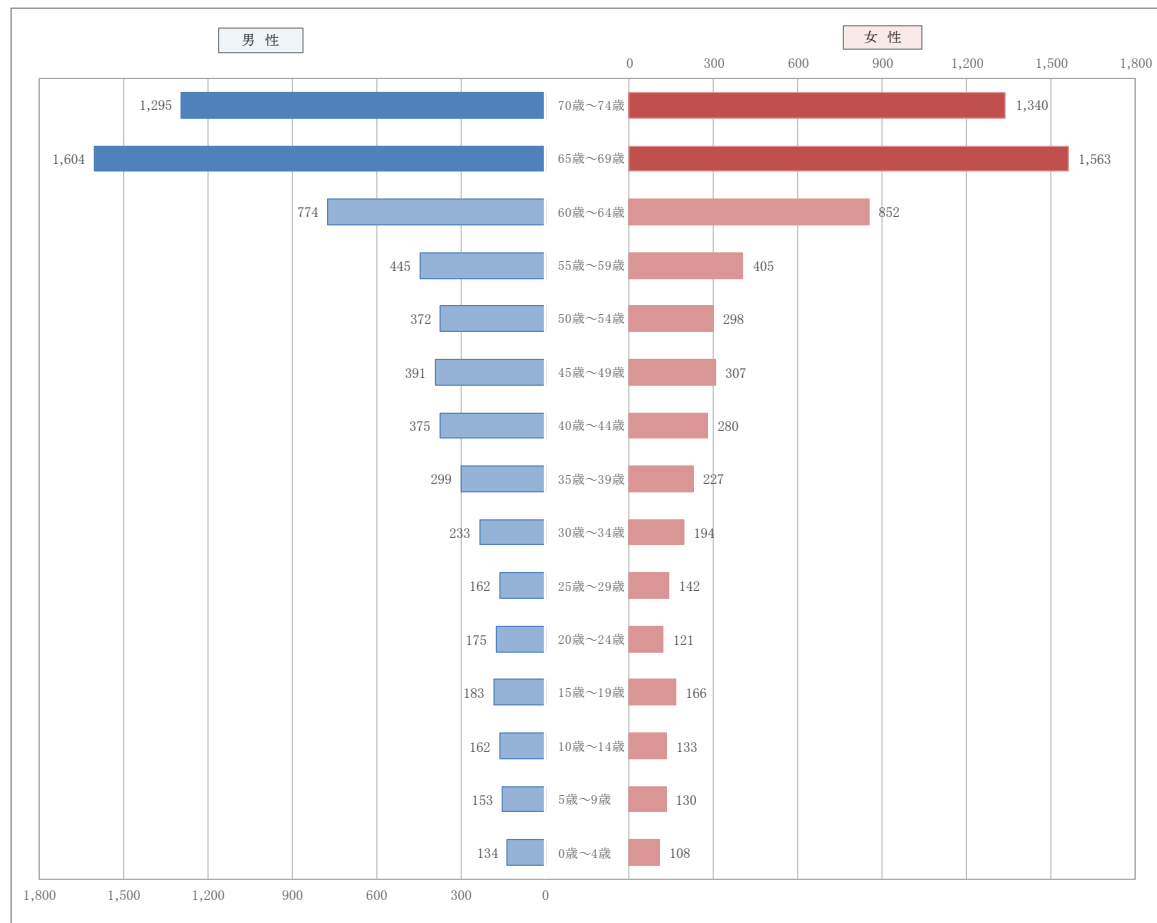
人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
いすみ市	39,189	38.3%	13,026	33.2%	54.3	4.9%	16.7%
県	5,975,492	21.8%	1,598,248	26.7%	51.8	8.6%	8.4%
同規模	34,868	29.1%	8,742	25.1%	53.9	7.2%	13.0%
国	124,852,975	23.2%	32,587,223	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「県」は千葉県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:国保データベース(平成28年度3月末現在)

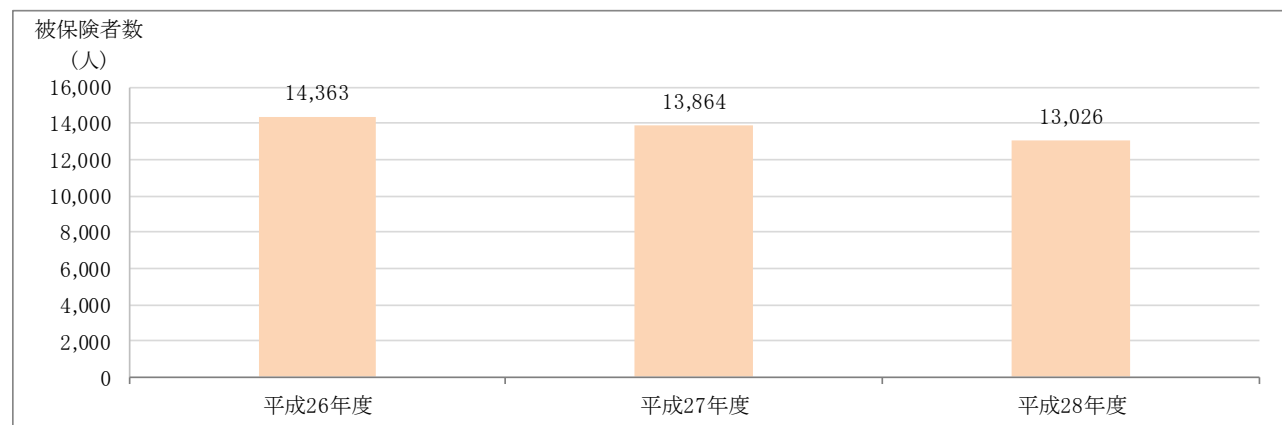
本市の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数13,026人は平成26年度14,363人より1,337人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢54.3歳は平成26年度53.0歳より1.3歳上昇している。

年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
いすみ市	平成26年度	40,365	36.3%	14,363	35.6%	53.0	5.7%	16.8%
	平成27年度	39,762	37.5%	13,864	34.9%	53.7	4.7%	15.8%
	平成28年度	39,189	38.3%	13,026	33.2%	54.3	4.9%	16.7%

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年度別 被保険者数



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(2) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	いすみ市	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.2	0.2	0.4	0.3
診療所数	1.7	2.3	2.9	3.0
病床数	26.0	36.4	59.8	46.8
医師数	3.0	7.3	7.5	9.2
外来患者数	578.4	637.9	698.5	668.3
入院患者数	19.3	15.9	23.6	18.2
受診率	597.7	653.9	722.1	686.5
一件当たり医療費(円)	42,160	35,290	38,460	35,330
一般(円)	42,520	35,230	38,470	35,270
退職(円)	32,620	38,260	38,220	37,860
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	60.1%	62.4%	56.9%	60.1%
外来受診率	578.4	637.9	698.5	668.3
一件当たり医療費(円)	26,170	22,590	22,610	21,820
一人当たり医療費(円)	15,140	14,410	15,790	14,580
一日当たり医療費(円)	17,480	14,660	14,550	13,910
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	39.9%	37.6%	43.1%	39.9%
入院率	19.3	15.9	23.6	18.2
一件当たり医療費(円)	522,660	544,120	507,410	531,780
一人当たり医療費(円)	10,060	8,670	11,980	9,670
一日当たり医療費(円)	31,650	36,760	29,780	34,030
一件当たり在院日数	16.5	14.8	17.0	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

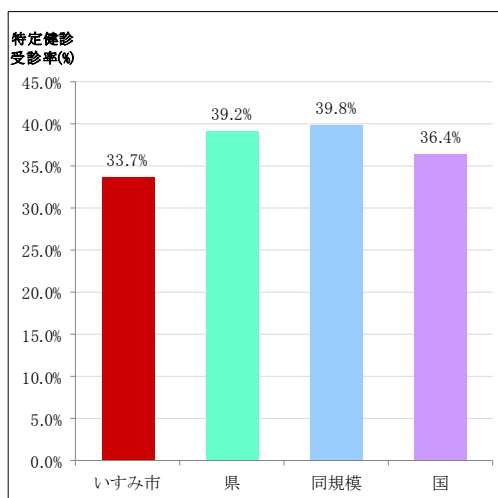
本市の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
いすみ市	33.7%
県	39.2%
同規模	39.8%
国	36.4%

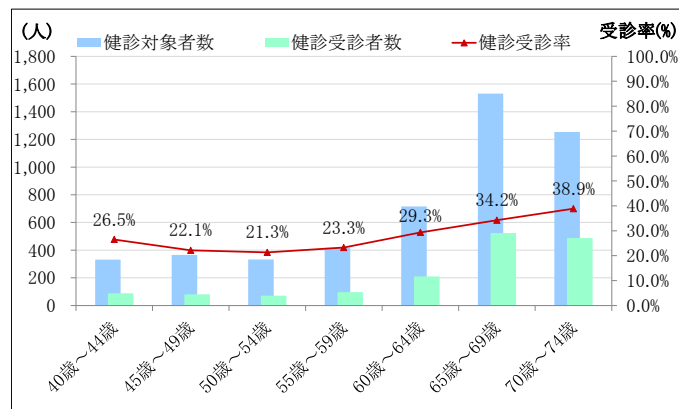
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率(平成28年度)

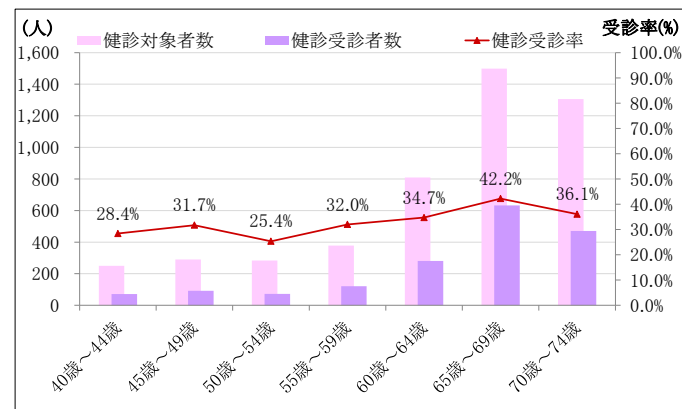


出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(男性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



(女性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

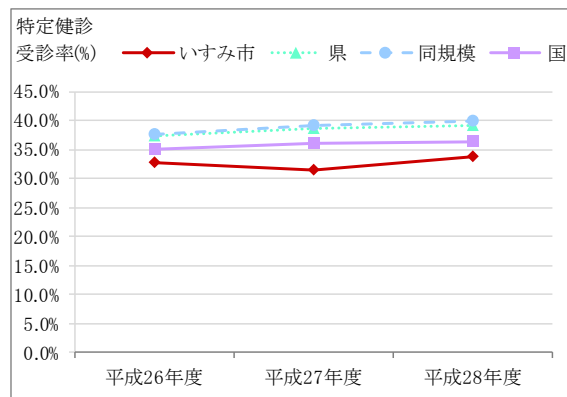
本市の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率33.7%は平成26年度32.7%より1.0ポイント上昇している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
いすみ市	32.8%	31.3%	33.7%
県	37.4%	38.7%	39.2%
同規模	37.7%	39.2%	39.8%
国	35.0%	36.0%	36.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

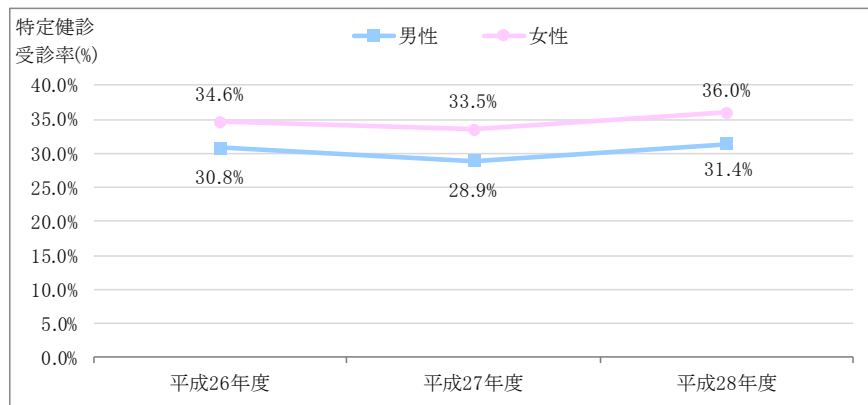
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率31.4%は平成26年度30.8%より0.6ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率36.0%は平成26年度34.6%より1.4ポイント上昇している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

②特定保健指導

本市の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

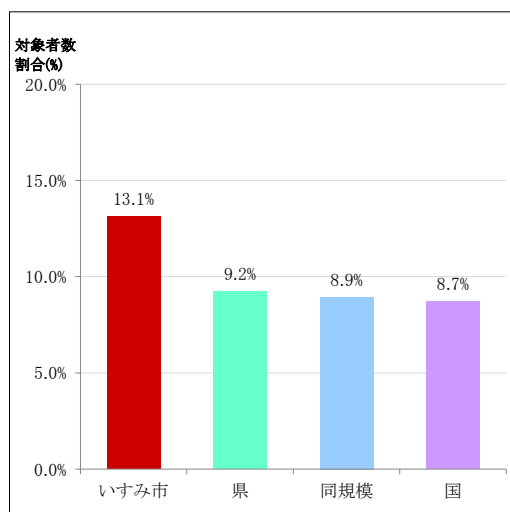
特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
いすみ市	12.9%	13.0%	13.1%	6.7%	5.5%	5.7%	19.5%	18.5%	18.8%	18.3%	17.4%	12.7%
県	9.2%	9.2%	9.2%	3.1%	2.9%	2.8%	12.2%	12.2%	12.0%	20.2%	20.2%	20.9%
同規模	8.8%	8.8%	8.9%	3.4%	3.3%	3.1%	12.2%	12.1%	12.0%	35.3%	36.7%	38.1%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	11.9%	19.9%	20.5%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

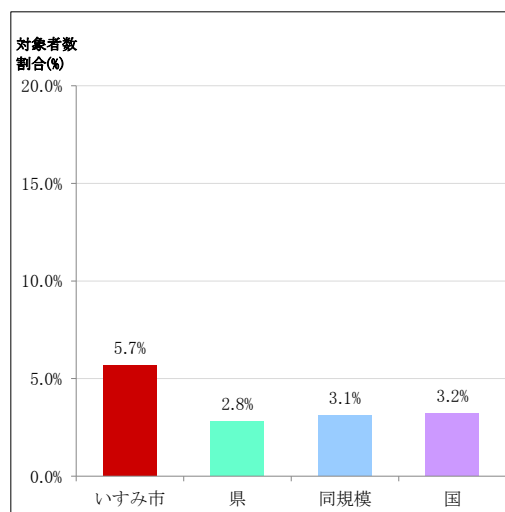
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



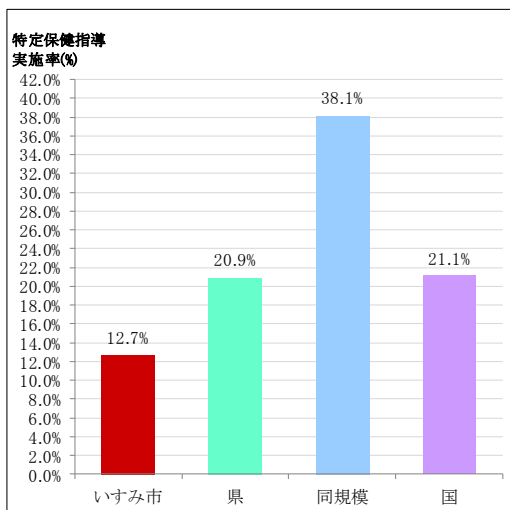
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。
平成28年度の特定保健指導実施率12.7%は平成26年度18.3%より5.6ポイント低下している。

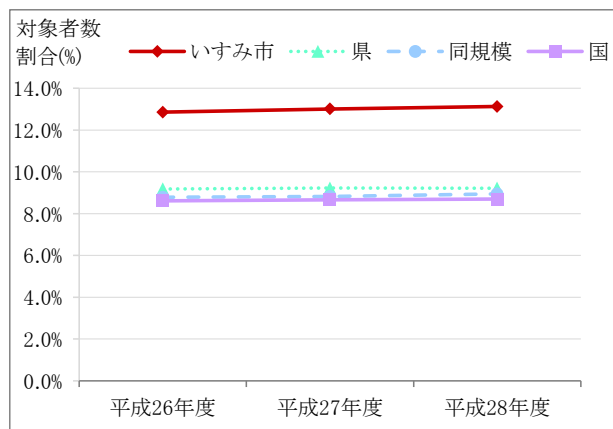
年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
いすみ市	12.9%	13.0%	13.1%	6.7%	5.5%	5.7%	19.5%	18.5%	18.8%	18.3%	17.4%	12.7%
県	9.2%	9.2%	9.2%	3.1%	2.9%	2.8%	12.2%	12.2%	12.0%	20.2%	20.2%	20.9%
同規模	8.8%	8.8%	8.9%	3.4%	3.3%	3.1%	12.2%	12.1%	12.0%	35.3%	36.7%	38.1%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	11.9%	19.9%	20.5%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

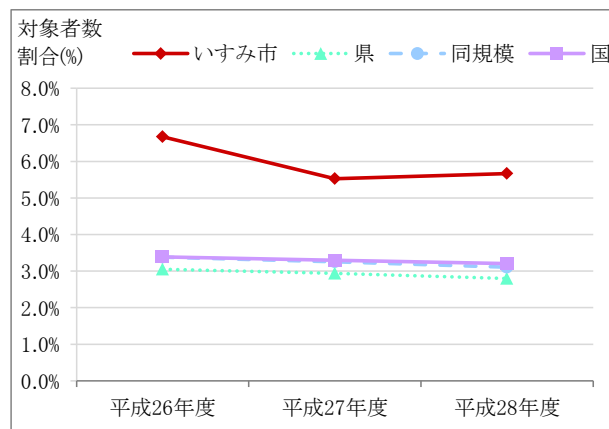
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



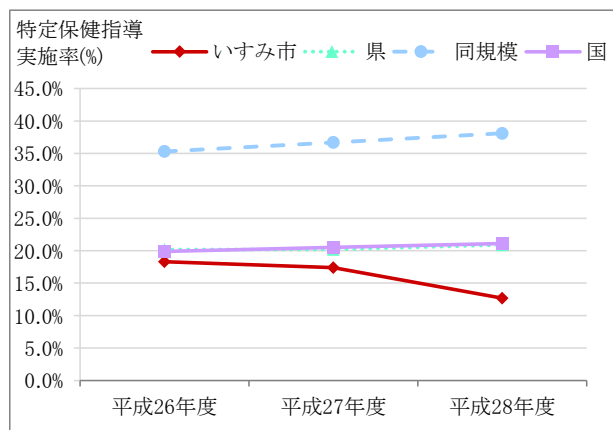
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(4) 介護保険の状況

本市の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

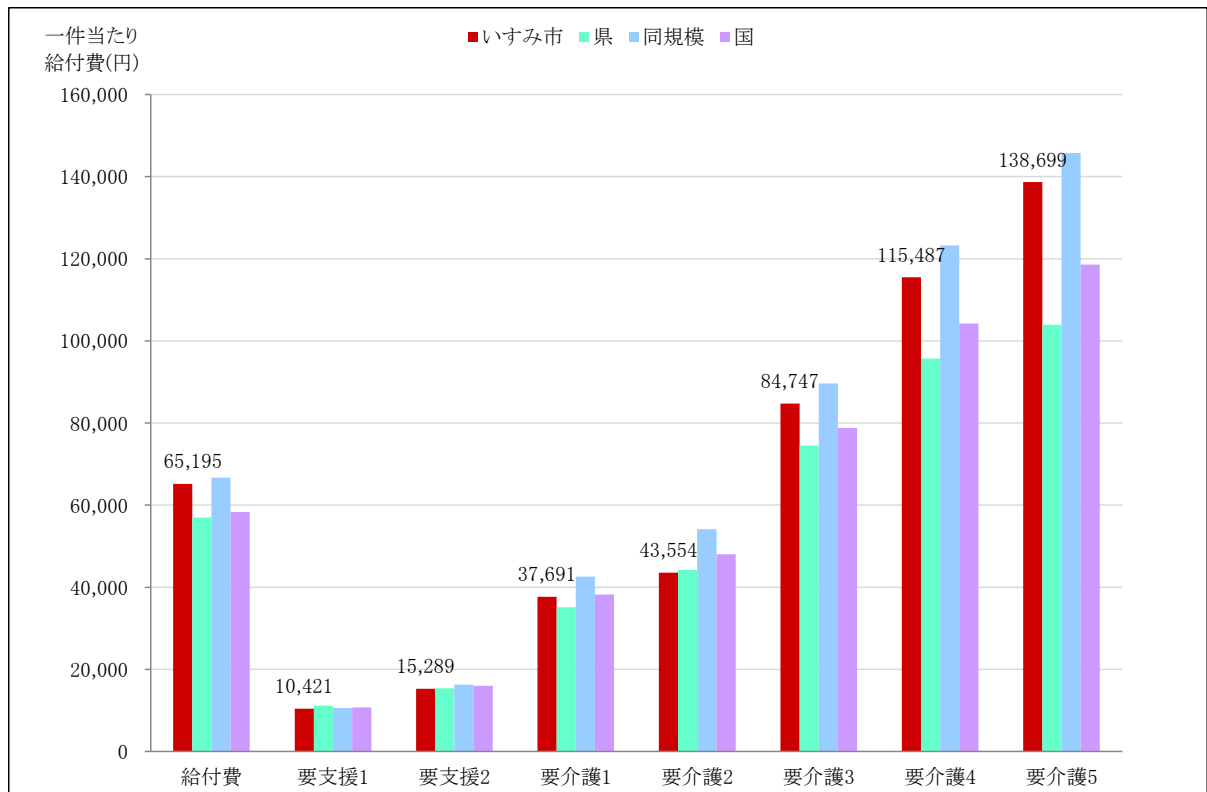
認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	いすみ市	県	同規模	国
認定率	16.7%	15.1%	20.5%	18.0%
認定者数(人)	2,599	257,148	550,688	6,034,085
第1号(65歳以上)	2,547	249,009	539,524	5,882,340
第2号(40～64歳)	52	8,139	11,164	151,745
一件当たり給付費(円)				
給付費	65,195	56,981	66,708	58,349
要支援1	10,421	11,149	10,605	10,730
要支援2	15,289	15,424	16,324	15,996
要介護1	37,691	35,144	42,565	38,200
要介護2	43,554	44,244	54,146	48,047
要介護3	84,747	74,528	89,614	78,791
要介護4	115,487	95,693	123,253	104,264
要介護5	138,699	103,916	145,754	118,599

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

いすみ市・県・国の認定率については厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

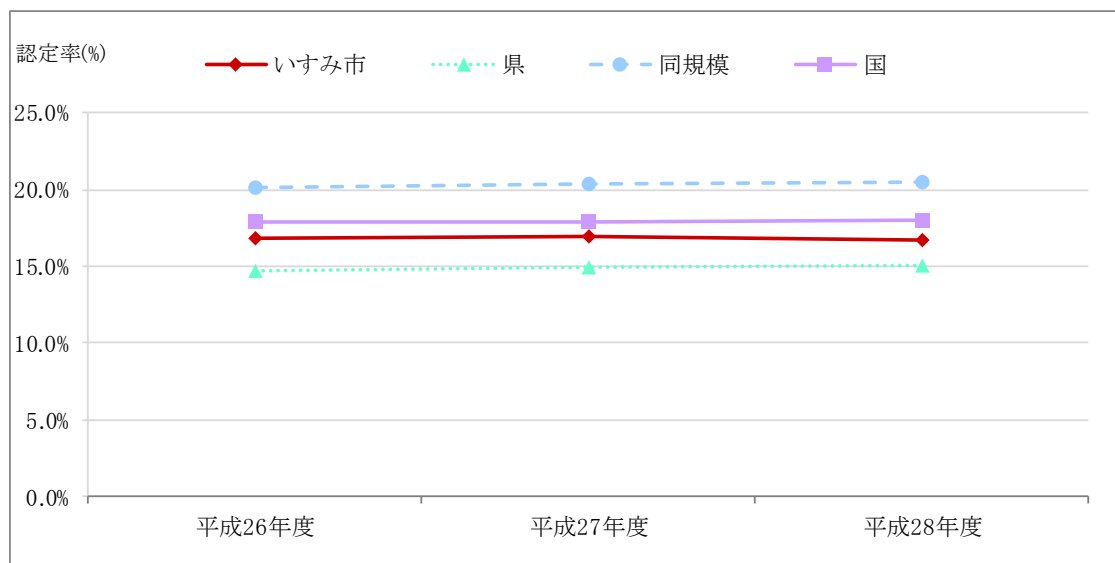
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率16.7%は平成26年度16.8%より0.1ポイント下降しており、平成28年度の認定者数2,599人は平成26年度2,560人より39人増加している。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
			第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)	
いすみ市	平成26年度	16.8%	2,560	2,499	61
	平成27年度	16.9%	2,596	2,546	50
	平成28年度	16.7%	2,599	2,547	52
県	平成26年度	14.7%	238,248	230,057	8,191
	平成27年度	14.9%	247,615	239,580	8,035
	平成28年度	15.1%	257,148	249,009	8,139
同規模	平成26年度	20.1%	523,363	511,692	11,671
	平成27年度	20.4%	529,235	518,066	11,169
	平成28年度	20.5%	550,688	539,524	11,164
国	平成26年度	17.9%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	17.9%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	18.0%	6,034,085	5,882,340	151,745

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」
いすみ市・県・国の認定率については厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」

年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」
いすみ市・県・国の認定率については厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」

本市の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると7,895人となり、認定者は平均3.0疾病を有していることがわかる。

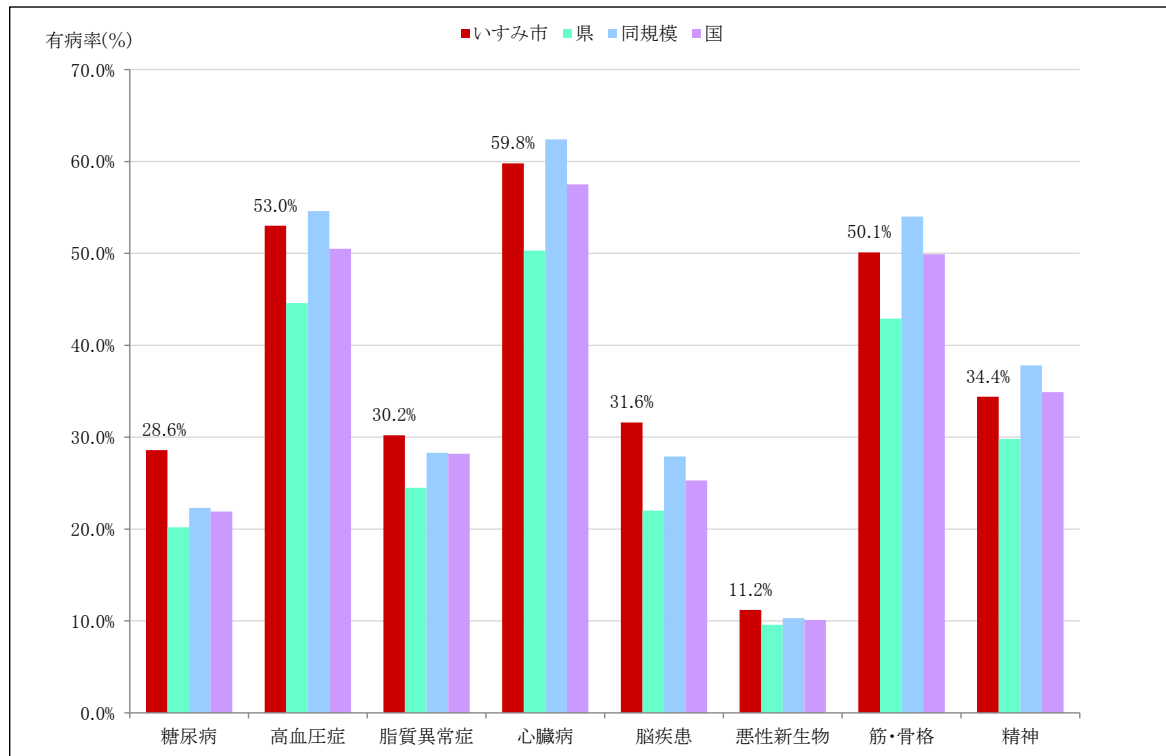
認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	いすみ市	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	2,599		257,148		550,688		6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	757	52,692		125,517		1,343,240	
	有病率	28.6%	20.2%		22.3%		21.9%	
高血圧症	実人数(人)	1,403	116,555		305,818		3,085,109	
	有病率	53.0%	44.6%		54.6%		50.5%	
脂質異常症	実人数(人)	803	64,344		159,712		1,733,323	
	有病率	30.2%	24.5%		28.3%		28.2%	
心臓病	実人数(人)	1,581	131,425		349,121		3,511,354	
	有病率	59.8%	50.3%		62.4%		57.5%	
脳疾患	実人数(人)	815	56,915		154,757		1,530,506	
	有病率	31.6%	22.0%		27.9%		25.3%	
悪性新生物	実人数(人)	304	25,420		58,389		629,053	
	有病率	11.2%	9.6%		10.3%		10.1%	
筋・骨格	実人数(人)	1,344	112,051		303,080		3,051,816	
	有病率	50.1%	42.9%		54.0%		49.9%	
精神	実人数(人)	888	77,967		213,249		2,141,880	
	有病率	34.4%	29.8%		37.8%		34.9%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数3.0疾病は平成26年度からほぼ横ばいである。

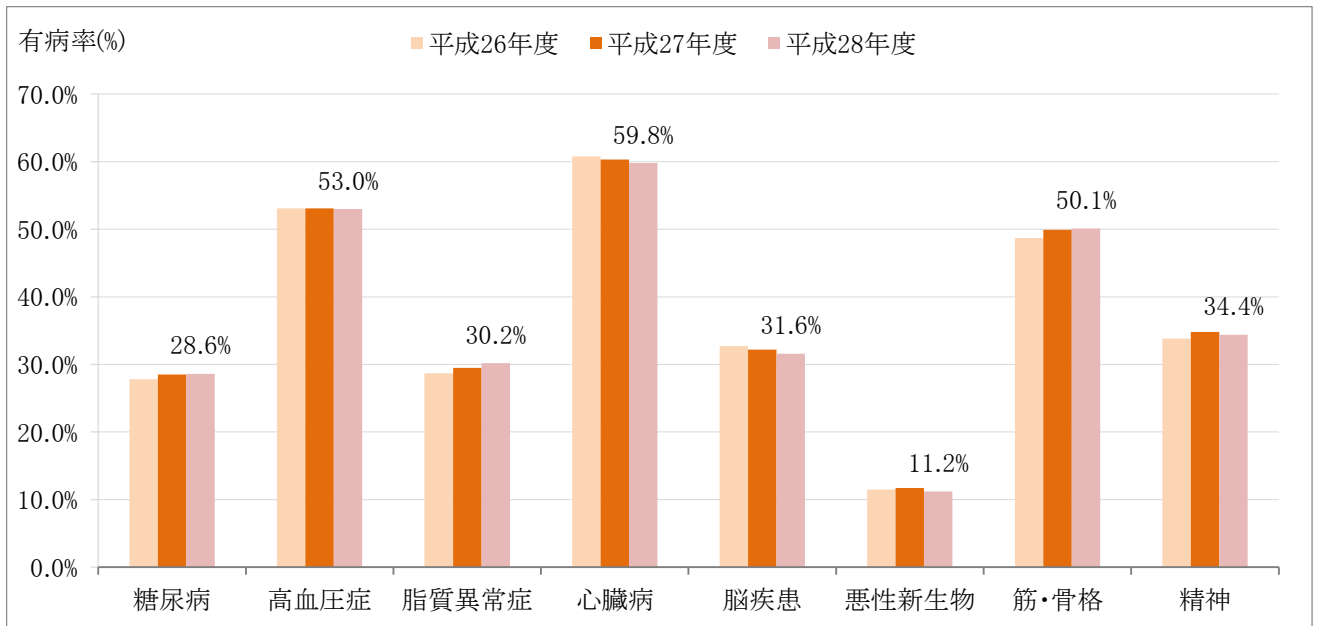
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	いすみ市						県			同規模			国			
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
認定者数(人)	2,560		2,596		2,599		238,248	247,615	257,148	523,363	529,235	550,688	5,324,880	5,751,982	6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	720	7	750	7	757	7	47,774	50,386	52,692	113,710	118,155	125,517	1,089,285	1,241,024	1,343,240
	有病率(%)	27.8%		28.5%		28.6%		19.8%	20.1%	20.2%	21.2%	21.8%	22.3%	20.3%	21.4%	21.9%
高血圧症	実人数(人)	1,368	2	1,398	2	1,403	2	105,976	111,257	116,555	282,596	289,746	305,818	2,551,660	2,865,466	3,085,109
	有病率(%)	53.1%		53.1%		53.0%		43.9%	44.4%	44.6%	53.0%	53.9%	54.6%	47.9%	49.7%	50.5%
脂質異常症	実人数(人)	756	6	791	6	803	6	56,649	60,715	64,344	142,881	149,286	159,712	1,386,541	1,586,963	1,733,323
	有病率(%)	28.7%		29.5%		30.2%		23.2%	24.0%	24.5%	26.5%	27.5%	28.3%	25.7%	27.3%	28.2%
心臓病	実人数(人)	1,568	1	1,591	1	1,581	1	119,663	125,486	131,425	323,192	330,980	349,121	2,914,608	3,261,576	3,511,354
	有病率(%)	60.8%		60.3%		59.8%		49.7%	50.2%	50.3%	60.7%	61.6%	62.4%	54.8%	56.7%	57.5%
脳疾患	実人数(人)	852	5	843	5	815	5	53,730	55,589	56,915	149,715	150,762	154,757	1,324,669	1,455,985	1,530,506
	有病率(%)	32.7%		32.2%		31.6%		22.5%	22.3%	22.0%	28.4%	28.2%	27.9%	25.2%	25.4%	25.3%
悪性新生物	実人数(人)	307	8	322	8	304	8	22,090	23,720	25,420	51,472	54,149	58,389	493,808	569,967	629,053
	有病率(%)	11.5%		11.7%		11.2%		9.1%	9.4%	9.6%	9.6%	9.9%	10.3%	9.2%	9.8%	10.1%
筋・骨格	実人数(人)	1,297	3	1,319	3	1,344	3	101,105	106,433	112,051	276,932	285,059	303,080	2,505,146	2,813,795	3,051,816
	有病率(%)	48.7%		49.9%		50.1%		41.8%	42.5%	42.9%	51.9%	53.0%	54.0%	47.1%	48.9%	49.9%
精神	実人数(人)	884	4	920	4	888	4	69,739	74,096	77,967	191,588	199,244	213,249	1,720,172	1,963,213	2,141,880
	有病率(%)	33.8%		34.8%		34.4%		28.7%	29.5%	29.8%	35.7%	36.8%	37.8%	32.2%	33.8%	34.9%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

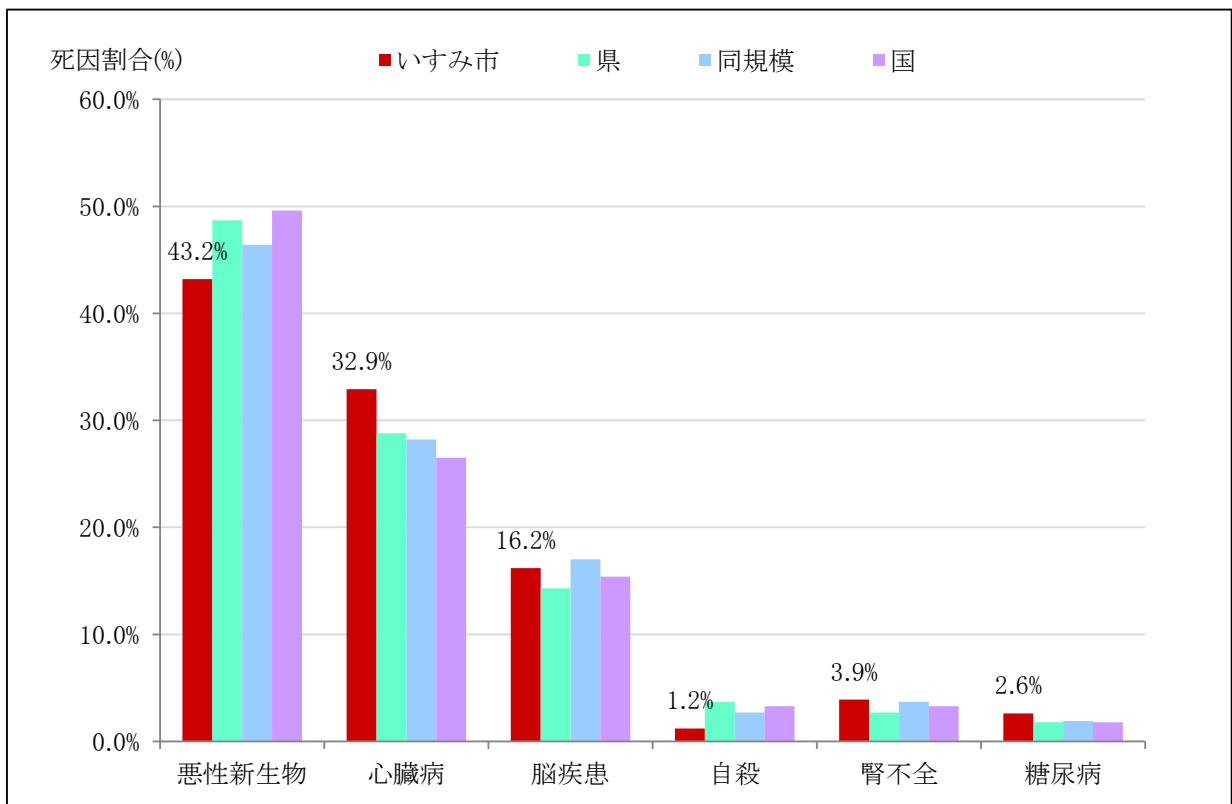
本市の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	いすみ市		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	186	43.2%	48.7%	46.4%	49.6%
心臓病	142	32.9%	28.8%	28.2%	26.5%
脳疾患	70	16.2%	14.3%	17.0%	15.4%
自殺	5	1.2%	3.7%	2.7%	3.3%
腎不全	17	3.9%	2.7%	3.7%	3.3%
糖尿病	11	2.6%	1.8%	1.9%	1.8%
合計	431				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

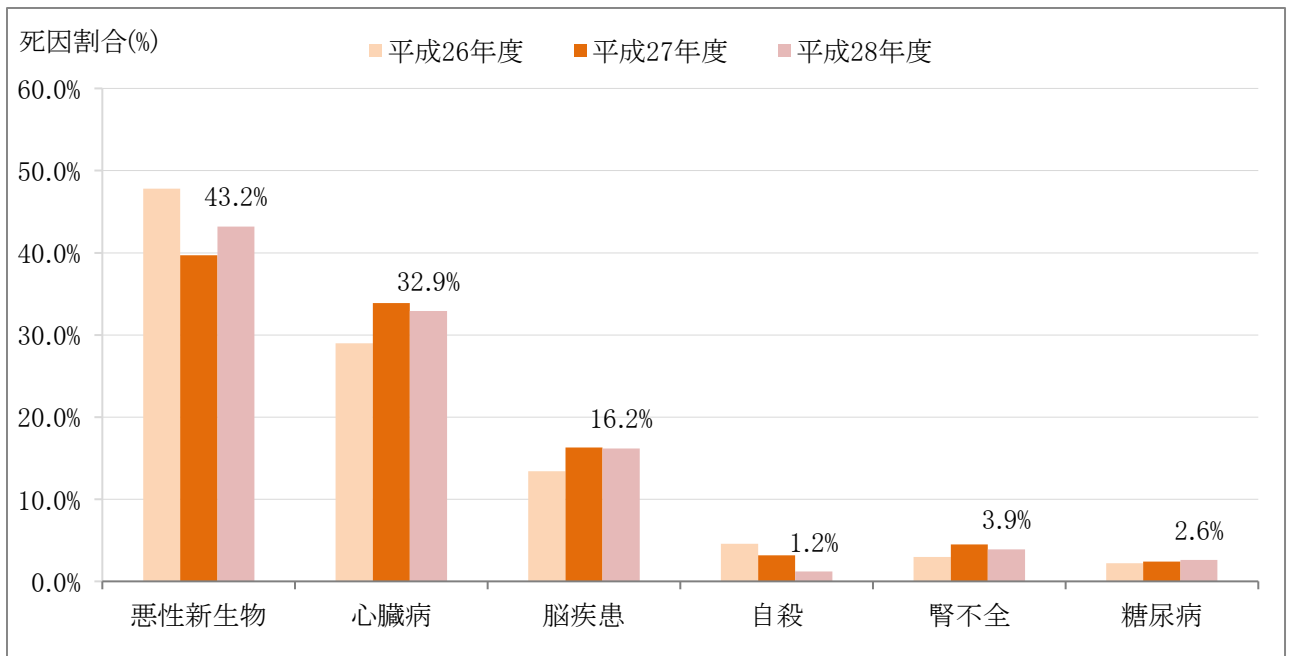
本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数186人は平成26年度175人より11人増加しており、心臓病を死因とする人数142人は平成26年度106人より36人増加している。また、脳疾患を死因とする人数70人は平成26年度49人より21人増加している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	いすみ市						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
悪性新生物	175	149	186	47.8%	39.7%	43.2%	47.1%	48.3%	48.7%	45.0%	45.5%	46.4%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	106	127	142	29.0%	33.9%	32.9%	29.0%	29.1%	28.8%	28.2%	28.3%	28.2%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	49	61	70	13.4%	16.3%	16.2%	15.5%	14.4%	14.3%	18.3%	17.7%	17.0%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	17	12	5	4.6%	3.2%	1.2%	3.7%	3.7%	3.7%	3.1%	2.9%	2.7%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	11	17	17	3.0%	4.5%	3.9%	2.8%	2.6%	2.7%	3.7%	3.6%	3.7%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	8	9	11	2.2%	2.4%	2.6%	2.0%	1.8%	1.8%	1.8%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	366	375	431												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成28年度から平成29年度	特定健康診査事業	メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防	40歳から74歳の人を対象とし特定健康診査を実施する。
平成28年度から平成29年度	特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話で行う。
平成28年度から平成29年度	特定健診未受診者対策事業	健康意識の向上と特定健康診査の実施率の向上	特定健康診査未受診者の理由に応じた個別のかつ具体的な受診勧奨を実施する。
平成28年度から平成29年度	糖尿病重症化予防及び糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病の重症化及び糖尿病性腎症の進行阻止	特定健康診査の結果と腎機能判定委員会の結果を基に対象者を選定し、対象者のステージに応じて正しい生活習慣や病気の知識の習得、また、必要に応じ受診勧奨を面談指導や電話指導で行う。
平成28年度から平成29年度	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータからジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することでジェネリック医薬品への切り替えを促す。

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

実施内容	目標値(平成29年度末)	達成状況(平成28年度時点)	評価
対象者を特定し、問診票を送付した。その後対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認した。	実施率 38.0%以上	実施率 32.2%	3
指導対象者に対して適切な保健指導を行った。健康診査データより検査値の推移を確認した。	対象者625人 実施者120人以上	対象者653人 実施者80人 実施率12.3%	3
電話勧奨の事前通知と受診勧奨ハガキの送付。健康啓発講演会を活用した個別受診勧奨を行った。	通知数3000通	対象者の特定受診率8.9%	3
対象者の状況に応じた保健指導を訪問・電話で行った。 既治療者に対しては、レセプトデータで通院の有無を確認した。	現状以下	糖尿病重症化 実施対象者 133名 実施者 68名 実施率 51%	4
年1回、666通郵送した。 対象者特定方法や効果検証方法、実施後を効果を考慮し、継続を検討した。	・対象者への通知率100%	通知数666通 ジェネリック医薬品数量シェア70.3%	4

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、いすみ市国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均13,479人、レセプト件数は平均13,401件、患者数は平均6,254人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均54,796円となった。

基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	13,926	13,723	13,701	13,637	13,562	13,535	13,495	
B	レセプト件数(件)	入院外	8,083	7,730	7,773	8,067	7,853	7,763	8,158
		入院	245	238	273	261	279	285	287
		調剤	5,485	5,164	5,175	5,310	5,207	5,179	5,472
		合計	13,813	13,132	13,221	13,638	13,339	13,227	13,917
C	医療費(円) ※	345,653,460	312,672,750	349,234,010	343,225,500	368,899,800	344,240,580	347,531,670	
D	患者数(人) ※	6,438	6,204	6,189	6,397	6,265	6,206	6,406	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	24,821	22,785	25,490	25,169	27,201	25,433	25,753	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	25,024	23,810	26,415	25,167	27,656	26,026	24,972	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	53,690	50,399	56,428	53,654	58,883	55,469	54,251	
B/A	受診率(%)	99.2%	95.7%	96.5%	100.0%	98.4%	97.7%	103.1%	
D/A	有病率(%)	46.2%	45.2%	45.2%	46.9%	46.2%	45.9%	47.5%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	13,360	13,286	13,237	13,150	13,134	13,479		
B	レセプト件数(件)	入院外	7,872	7,875	7,629	7,557	7,791	7,846	94,151
		入院	276	244	230	250	267	261	3,135
		調剤	5,357	5,378	5,262	5,127	5,408	5,294	63,524
		合計	13,505	13,497	13,121	12,934	13,466	13,401	160,810
C	医療費(円) ※	347,230,670	335,064,430	315,202,380	349,293,370	354,314,900	342,713,627	4,112,563,520	
D	患者数(人) ※	6,306	6,298	6,098	6,023	6,222	6,254	75,052	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	25,990	25,219	23,812	26,562	26,977	25,426		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	25,711	24,825	24,023	27,006	26,312	25,574		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	55,064	53,202	51,689	57,993	56,945	54,796		
B/A	受診率(%)	101.1%	101.6%	99.1%	98.4%	102.5%	99.4%		
D/A	有病率(%)	47.2%	47.4%	46.1%	45.8%	47.4%	46.4%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは1,216件発生しており、レセプト件数全体の0.8%を占める。高額レセプトの医療費は12億6,707万円となり、医療費全体の30.8%を占める。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	13,813	13,132	13,221	13,638	13,339	13,227	13,917
B	高額レセプト件数(件)	96	79	106	98	121	109	98
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.6%	0.8%	0.7%	0.9%	0.8%	0.7%
C	医療費(円) ※	345,653,460	312,672,750	349,234,010	343,225,500	368,899,800	344,240,580	347,531,670
D	高額レセプトの医療費(円) ※	106,172,350	80,679,440	108,009,100	104,108,920	130,130,730	104,026,330	102,738,630
E	その他レセプトの医療費(円) ※	239,481,110	231,993,310	241,224,910	239,116,580	238,769,070	240,214,250	244,793,040
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	30.7%	25.8%	30.9%	30.3%	35.3%	30.2%	29.6%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	13,505	13,497	13,121	12,934	13,466	13,401	160,810
B	高額レセプト件数(件)	115	92	86	112	104	101	1,216
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.9%	0.7%	0.7%	0.9%	0.8%	0.8%	
C	医療費(円) ※	347,230,670	335,064,430	315,202,380	349,293,370	354,314,900	342,713,627	4,112,563,520
D	高額レセプトの医療費(円) ※	109,906,250	98,235,540	84,070,170	128,224,050	110,767,590	105,589,092	1,267,069,100
E	その他レセプトの医療費(円) ※	237,324,420	236,828,890	231,132,210	221,069,320	243,547,310	237,124,535	2,845,494,420
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	31.7%	29.3%	26.7%	36.7%	31.3%	30.8%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「アルコール性肝疾患」「慢性閉塞性肺疾患」「その他の精神及び行動の障害」等となった。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝硬変	1	7,253,160	1,005,240	8,258,400	8,258,400
2	1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性閉塞性肺疾患	1	6,492,440	0	6,492,440	6,492,440
3	0507	その他の精神及び行動の障害	器質性精神障害	1	6,278,420	40,190	6,318,610	6,318,610
4	0905	脳内出血	被殻出血, 視床出血, 脳皮質下出血	7	38,926,180	1,111,270	40,037,450	5,719,636
5	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	28	76,149,060	79,537,500	155,686,560	5,560,234
6	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺腺癌, 肺癌, 上葉肺腺癌	28	84,356,290	68,916,850	153,273,140	5,474,041
7	0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	1	5,357,900	3,780	5,361,680	5,361,680
8	0209	白血病	慢性骨髄性白血病, 成人T細胞白血病リンパ腫, E2A-PBX1陽性Bリンパ芽球性白血病/リンパ腫	5	11,013,700	12,755,440	23,769,140	4,753,828
9	0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫, 濾胞性リンパ腫・グレード1, びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	8	24,025,090	12,634,530	36,659,620	4,582,453
10	0601	パーキンソン病	パーキンソン病	3	10,607,240	1,768,290	12,375,530	4,125,177
11	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	肥満低換気症候群, 医原性低血糖症	2	6,029,620	2,091,720	8,121,340	4,060,670
12	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, C型肝炎硬変	22	3,217,790	82,207,710	85,425,500	3,882,977
13	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	低出生体重児	3	9,467,010	1,812,100	11,279,110	3,759,703
14	0903	その他の心疾患	発作性心房細動, 僧帽弁閉鎖不全症, 完全房室ブロック	27	83,723,370	16,184,250	99,907,620	3,700,282
15	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	好中球減少症, 播種性血管内凝固	2	6,276,700	562,760	6,839,460	3,419,730
16	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝細胞癌, 肝内胆管癌	6	15,937,300	4,476,450	20,413,750	3,402,292
17	0904	くも膜下出血	IC-PC動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血, くも膜下出血	4	12,737,990	492,800	13,230,790	3,307,698
18	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 胸部食道癌, 頸頭部癌	57	128,680,550	54,418,270	183,098,820	3,212,260
19	0912	その他の循環器系の疾患	食道静脈瘤, 急性大動脈解離StanfordA, 内頸動脈脳動脈瘤	8	21,623,470	2,963,210	24,586,680	3,073,335
20	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	喀痰咯出困難, 痙攣	2	6,020,830	18,660	6,039,490	3,019,745

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「骨折」「気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」である。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌，胸部食道癌，膝頭部癌	57	128,680,550	54,418,270	183,098,820	3,212,260
2	1901	骨折	橈骨遠位端骨折，大腿骨頸部骨折，骨折	39	67,034,330	11,785,610	78,819,940	2,021,024
3	0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺腺癌，肺癌，上葉肺腺癌	28	84,356,290	68,916,850	153,273,140	5,474,041
3	1402	腎不全	慢性腎不全，末期腎不全，急性腎不全	28	76,149,060	79,537,500	155,686,560	5,560,234
5	0903	その他の心疾患	発作性心房細動，僧帽弁閉鎖不全症，完全房室ブロック	27	83,723,370	16,184,250	99,907,620	3,700,282
6	0906	脳梗塞	脳梗塞，アテローム血栓性脳梗塞，心原性脳塞栓症	24	64,925,670	5,642,850	70,568,520	2,940,355
6	1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症，胆石性急性胆のう炎，総胆管結石性胆管炎	24	20,457,650	5,853,850	26,311,500	1,096,313
8	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎，C型肝炎，C型肝炎変	22	3,217,790	82,207,710	85,425,500	3,882,977
9	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症，急性下壁心筋梗塞，狭心症	19	38,528,600	5,959,420	44,488,020	2,341,475
9	1302	関節症	変形性膝関節症，変形性股関節症，一側性原発性股関節症	19	37,294,500	6,374,220	43,668,720	2,298,354
11	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌，噴門癌，胃体部癌	18	32,711,670	17,073,880	49,785,550	2,765,864
12	1113	その他の消化器系の疾患	腹膜炎，便秘症，急性穿孔性虫垂炎	17	29,588,740	3,807,160	33,395,900	1,964,465
13	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌，乳房上外側部乳癌，乳房境界部乳癌	14	16,463,010	11,707,320	28,170,330	2,012,166
13	1011	その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎，間質性肺炎，臍胸	14	32,161,180	7,013,740	39,174,920	2,798,209
15	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	上行結腸癌，S状結腸癌，盲腸癌	13	23,500,100	8,042,900	31,543,000	2,426,385
16	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂，頸髄損傷，頭部外傷後遺症	12	28,810,870	4,312,050	33,122,920	2,760,243
17	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	川崎病，全身性エリテマトーデス，廃用性筋萎縮	11	25,534,740	3,825,380	29,360,120	2,669,102
18	0606	その他の神経系の疾患	筋萎縮性側索硬化症，進行性核上性麻痺，重症筋無力症	10	18,935,970	9,214,850	28,150,820	2,815,082
18	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症，頸椎後縦靭帯骨化症，脊柱管狭窄症	10	12,584,720	4,793,990	17,378,710	1,737,871
20	0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫，濾胞性リンパ腫・グレード1，びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	8	24,025,090	12,634,530	36,659,620	4,582,453

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の15.9%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の15.5%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	145,348,431	3.5%	11	12,440	13	3,316	10	43,832	13
II. 新生物<腫瘍>	633,864,504	15.5%	2	14,081	12	3,696	7	171,500	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	37,302,550	0.9%	15	4,377	15	1,133	15	32,924	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	411,203,838	10.0%	3	59,657	2	6,329	1	64,971	8
V. 精神及び行動の障害	363,539,761	8.9%	5	15,444	10	1,426	14	254,937	2
VI. 神経系の疾患	174,313,914	4.3%	9	25,890	6	2,689	12	64,825	9
VII. 眼及び付属器の疾患	104,014,616	2.5%	12	14,893	11	3,679	8	28,273	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	14,523,532	0.4%	16	3,269	16	957	16	15,176	19
IX. 循環器系の疾患	650,390,419	15.9%	1	62,148	1	5,763	4	112,856	6
X. 呼吸器系の疾患	235,544,322	5.8%	8	33,009	5	6,146	2	38,325	14
X I. 消化器系の疾患 ※	274,206,401	6.7%	7	44,206	3	5,826	3	47,066	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	56,984,563	1.4%	14	15,995	8	3,464	9	16,451	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	340,684,026	8.3%	6	38,496	4	4,888	5	69,698	7
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	402,067,434	9.8%	4	16,486	7	3,118	11	128,950	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	9,022,713	0.2%	18	129	20	62	20	145,528	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	12,777,022	0.3%	17	38	21	24	21	532,376	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	8,470,258	0.2%	19	491	19	138	18	61,379	11
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	61,630,554	1.5%	13	15,599	9	3,714	6	16,594	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	151,332,793	3.7%	10	8,552	14	2,450	13	61,768	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	6,559,199	0.2%	20	2,624	17	490	17	13,386	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,386,090	0.0%	21	500	18	112	19	12,376	21
合計	4,095,166,940			159,669		11,883		344,624	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

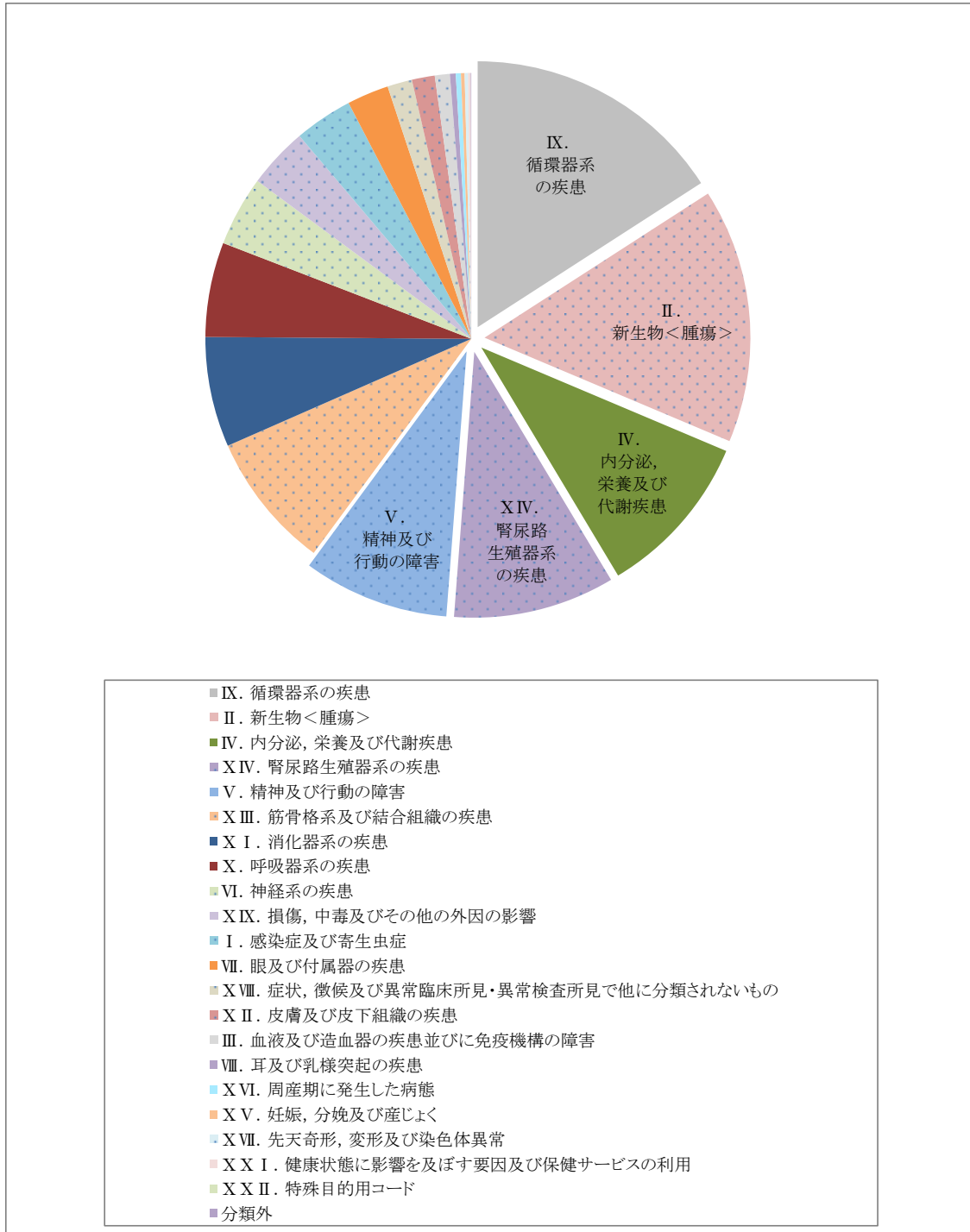
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「腎尿路生殖器系の疾患」「精神及び行動の障害」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	317,972,410	7.8%	396
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	245,957,334	6.0%	415
3	0402 糖尿病	230,234,531	5.6%	4,768
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	198,126,836	4.8%	1,521
5	0901 高血圧性疾患	196,133,291	4.8%	4,454
6	0903 その他の心疾患	172,803,389	4.2%	2,190
7	1113 その他の消化器系の疾患	159,663,202	3.9%	3,782
8	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	154,881,275	3.8%	429
9	0403 脂質異常症	113,979,642	2.8%	3,275
10	0606 その他の神経系の疾患	104,844,549	2.6%	2,399

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	230,234,531	4,768	40.1%
2	0901 高血圧性疾患	196,133,291	4,454	37.5%
3	1113 その他の消化器系の疾患	159,663,202	3,782	31.8%
4	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	61,630,554	3,714	31.3%
5	0403 脂質異常症	113,979,642	3,275	27.6%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	37,785,047	2,951	24.8%
7	1006 アレルギー性鼻炎	34,788,000	2,662	22.4%
8	1202 皮膚炎及び湿疹	26,148,570	2,532	21.3%
9	0606 その他の神経系の疾患	104,844,549	2,399	20.2%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	57,424,721	2,381	20.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	8,426,410	8	1,053,301
2	1402 腎不全	317,972,410	396	802,961
3	0209 白血病	27,070,000	43	629,535
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	245,957,334	415	592,668
5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	154,881,275	429	361,029
6	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	18,539,771	57	325,259
7	0208 悪性リンパ腫	28,107,109	91	308,869
8	0501 血管性及び詳細不明の認知症	8,158,349	29	281,322
9	1502 妊娠高血圧症候群	505,067	2	252,534
10	0904 くも膜下出血	18,369,843	73	251,642

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,095,166,940	159,669	11,883

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	145,348,431	3.5%		12,440	7.8%		3,316	27.9%		43,832	
0101 腸管感染症	5,991,116	0.1%	85	2,496	1.6%	53	993	8.4%	36	6,033	111
0102 結核	3,186,187	0.1%	98	528	0.3%	85	203	1.7%	83	15,696	83
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	1,153,295	0.0%	106	495	0.3%	91	255	2.1%	76	4,523	117
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	5,754,413	0.1%	87	1,540	1.0%	66	496	4.2%	56	11,602	101
0105 ウイルス性肝炎	90,159,598	2.2%	11	1,834	1.1%	60	491	4.1%	57	183,624	14
0106 その他のウイルス性疾患	9,193,722	0.2%	71	465	0.3%	94	192	1.6%	85	47,884	41
0107 真菌症	13,677,645	0.3%	61	3,279	2.1%	47	818	6.9%	41	16,721	80
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	199,844	0.0%	117	62	0.0%	113	17	0.1%	114	11,756	100
0109 その他の感染症及び寄生虫症	16,032,611	0.4%	58	3,311	2.1%	46	1,144	9.6%	32	14,015	88
II. 新生物<腫瘍>	633,864,504	15.5%		14,081	8.8%		3,696	31.1%		171,500	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	47,610,565	1.2%	27	2,049	1.3%	57	715	6.0%	42	66,588	33
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	42,462,151	1.0%	29	1,668	1.0%	62	640	5.4%	47	66,347	34
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	18,539,771	0.5%	54	385	0.2%	96	57	0.5%	104	325,259	6
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	20,062,237	0.5%	52	519	0.3%	86	158	1.3%	87	126,976	25
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	154,881,275	3.8%	8	1,394	0.9%	69	429	3.6%	64	361,029	5
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	34,991,455	0.9%	32	997	0.6%	74	213	1.8%	81	164,279	17
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	12,196,614	0.3%	67	501	0.3%	89	256	2.2%	75	47,643	42
0208 悪性リンパ腫	28,107,109	0.7%	37	323	0.2%	99	91	0.8%	96	308,869	7
0209 白血病	27,070,000	0.7%	38	179	0.1%	107	43	0.4%	108	629,535	3
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	198,126,836	4.8%	4	5,449	3.4%	33	1,521	12.8%	23	130,261	23
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	49,816,491	1.2%	24	3,914	2.5%	40	1,612	13.6%	21	30,904	58
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	37,302,550	0.9%		4,377	2.7%		1,133	9.5%		32,924	
0301 貧血	22,972,646	0.6%	47	3,509	2.2%	44	823	6.9%	40	27,913	64
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	14,329,904	0.3%	60	1,063	0.7%	72	452	3.8%	61	31,703	57
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	411,203,838	10.0%		59,657	37.4%		6,329	53.3%		64,971	
0401 甲状腺障害	21,826,006	0.5%	50	4,902	3.1%	36	1,199	10.1%	30	18,204	77
0402 糖尿病	230,234,531	5.6%	3	33,366	20.9%	3	4,768	40.1%	1	48,287	40
0403 脂質異常症	113,979,642	2.8%	9	35,244	22.1%	2	3,275	27.6%	5	34,803	53
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	45,163,659	1.1%	28	11,871	7.4%	10	1,636	13.8%	20	27,606	65
V. 精神及び行動の障害	363,539,761	8.9%		15,444	9.7%		1,426	12.0%		254,937	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	8,158,349	0.2%	75	107	0.1%	110	29	0.2%	109	281,322	8
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	5,762,868	0.1%	86	249	0.2%	100	48	0.4%	106	120,060	26
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	245,957,334	6.0%	2	5,466	3.4%	32	415	3.5%	65	592,668	4

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,095,166,940	159,669	11,883

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	55,231,798	1.3%	21	6,906	4.3%	22	585	4.9%	52	94,413	27
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	23,568,534	0.6%	46	5,995	3.8%	28	692	5.8%	44	34,059	55
0506	知的障害<精神遅滞>	5,022,683	0.1%	89	85	0.1%	112	26	0.2%	111	193,180	13
0507	その他の精神及び行動の障害	19,838,195	0.5%	53	1,090	0.7%	71	150	1.3%	88	132,255	22
VI. 神経系の疾患		174,313,914	4.3%		25,890	16.2%		2,689	22.6%		64,825	
0601	パーキンソン病	18,040,362	0.4%	56	1,150	0.7%	70	99	0.8%	93	182,226	15
0602	アルツハイマー病	13,441,907	0.3%	62	507	0.3%	87	64	0.5%	99	210,030	12
0603	てんかん	29,280,036	0.7%	36	3,429	2.1%	45	337	2.8%	69	86,884	28
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	8,063,921	0.2%	76	342	0.2%	98	60	0.5%	103	134,399	20
0605	自律神経系の障害	643,139	0.0%	113	503	0.3%	88	48	0.4%	106	13,399	92
0606	その他の神経系の疾患	104,844,549	2.6%	10	22,382	14.0%	5	2,399	20.2%	9	43,703	45
VII. 眼及び付属器の疾患		104,014,616	2.5%		14,893	9.3%		3,679	31.0%		28,273	
0701	結膜炎	8,895,528	0.2%	72	5,648	3.5%	30	1,474	12.4%	25	6,035	110
0702	白内障	29,319,717	0.7%	35	5,102	3.2%	35	1,261	10.6%	29	23,251	70
0703	屈折及び調節の障害	8,374,650	0.2%	74	8,278	5.2%	20	2,243	18.9%	11	3,734	119
0704	その他の眼及び付属器の疾患	57,424,721	1.4%	18	10,518	6.6%	13	2,381	20.0%	10	24,118	68
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		14,523,532	0.4%		3,269	2.0%		957	8.1%		15,176	
0801	外耳炎	1,074,457	0.0%	109	607	0.4%	83	232	2.0%	78	4,631	116
0802	その他の外耳疾患	1,133,890	0.0%	107	494	0.3%	92	270	2.3%	72	4,200	118
0803	中耳炎	3,803,613	0.1%	96	906	0.6%	77	265	2.2%	74	14,353	86
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	2,166,473	0.1%	102	245	0.2%	101	94	0.8%	94	23,048	72
0805	メニエール病	1,954,036	0.0%	103	746	0.5%	80	150	1.3%	88	13,027	94
0806	その他の内耳疾患	1,089,093	0.0%	108	216	0.1%	102	90	0.8%	97	12,101	99
0807	その他の耳疾患	3,301,970	0.1%	97	987	0.6%	75	335	2.8%	70	9,857	104
IX. 循環器系の疾患		650,390,419	15.9%		62,148	38.9%		5,763	48.5%		112,856	
0901	高血圧性疾患	196,133,291	4.8%	5	53,482	33.5%	1	4,454	37.5%	2	44,035	44
0902	虚血性心疾患	74,699,584	1.8%	14	10,249	6.4%	14	1,437	12.1%	26	51,983	38
0903	その他の心疾患	172,803,389	4.2%	6	13,126	8.2%	8	2,190	18.4%	12	78,906	30
0904	くも膜下出血	18,369,843	0.4%	55	197	0.1%	104	73	0.6%	98	251,642	10
0905	脳内出血	36,429,128	0.9%	31	648	0.4%	82	205	1.7%	82	177,703	16
0906	脳梗塞	78,318,520	1.9%	12	6,412	4.0%	25	912	7.7%	38	85,876	29
0907	脳動脈硬化(症)	28,022	0.0%	119	9	0.0%	118	2	0.0%	119	14,011	89
0908	その他の脳血管疾患	23,603,162	0.6%	45	1,898	1.2%	59	512	4.3%	55	46,100	43
0909	動脈硬化(症)	16,493,929	0.4%	57	2,310	1.4%	55	448	3.8%	62	36,817	49
0911	低血圧(症)	538,861	0.0%	114	189	0.1%	106	27	0.2%	110	19,958	75
0912	その他の循環器系の疾患	32,972,690	0.8%	34	2,785	1.7%	51	607	5.1%	49	54,321	37
X. 呼吸器系の疾患		235,544,322	5.8%		33,009	20.7%		6,146	51.7%		38,325	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	799,603	0.0%	112	720	0.5%	81	297	2.5%	71	2,692	121
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	7,178,111	0.2%	80	3,809	2.4%	42	1,332	11.2%	28	5,389	114
1003	その他の急性上気道感染症	12,455,180	0.3%	66	6,168	3.9%	27	2,149	18.1%	13	5,796	113

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,095,166,940	159,669	11,883

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	22,396,877	0.5%	48	1,615	1.0%	64	699	5.9%	43	32,041	56
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	11,885,965	0.3%	68	5,339	3.3%	34	1,809	15.2%	17	6,570	108
1006	アレルギー性鼻炎	34,788,000	0.8%	33	12,800	8.0%	9	2,662	22.4%	7	13,068	93
1007	慢性副鼻腔炎	6,792,282	0.2%	81	2,478	1.6%	54	552	4.6%	54	12,305	98
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	6,512,444	0.2%	83	2,808	1.8%	50	894	7.5%	39	7,285	107
1009	慢性閉塞性肺疾患	23,837,797	0.6%	43	3,877	2.4%	41	662	5.6%	46	36,009	50
1010	喘息	52,177,193	1.3%	23	9,534	6.0%	16	1,500	12.6%	24	34,785	54
1011	その他の呼吸器系の疾患	56,720,870	1.4%	19	5,811	3.6%	29	2,099	17.7%	14	27,023	66
X I . 消化器系の疾患		274,206,401	6.7%		44,206	27.7%		5,826	49.0%		47,066	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	4,537	0.0%	122	4	0.0%	119	2	0.0%	119	2,269	122
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	32,561	0.0%	118	27	0.0%	115	11	0.1%	115	2,960	120
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	21,948,748	0.5%	49	7,147	4.5%	21	1,013	8.5%	35	21,667	73
1105	胃炎及び十二指腸炎	37,785,047	0.9%	30	16,982	10.6%	6	2,951	24.8%	6	12,804	95
1106	痔核	4,203,053	0.1%	94	929	0.6%	76	223	1.9%	80	18,848	76
1107	アルコール性肝疾患	3,946,683	0.1%	95	383	0.2%	97	64	0.5%	99	61,667	35
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	2,779,550	0.1%	100	1,566	1.0%	65	197	1.7%	84	14,109	87
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	4,402,289	0.1%	91	767	0.5%	79	147	1.2%	90	29,948	60
1110	その他の肝疾患	10,030,150	0.2%	70	3,713	2.3%	43	1,116	9.4%	33	8,988	106
1111	胆石症及び胆のう炎	24,527,144	0.6%	42	1,768	1.1%	61	480	4.0%	59	51,098	39
1112	膵疾患	4,883,437	0.1%	90	574	0.4%	84	187	1.6%	86	26,115	67
1113	その他の消化器系の疾患	159,663,202	3.9%	7	28,680	18.0%	4	3,782	31.8%	3	42,217	47
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		56,984,563	1.4%		15,995	10.0%		3,464	29.2%		16,451	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	5,506,382	0.1%	88	1,515	0.9%	67	595	5.0%	51	9,254	105
1202	皮膚炎及び湿疹	26,148,570	0.6%	39	11,272	7.1%	11	2,532	21.3%	8	10,327	103
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	25,329,611	0.6%	41	6,567	4.1%	24	1,540	13.0%	22	16,448	82
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		340,684,026	8.3%		38,496	24.1%		4,888	41.1%		69,698	
1301	炎症性多発性関節障害	63,853,242	1.6%	16	6,864	4.3%	23	948	8.0%	37	67,356	32
1302	関節症	66,662,143	1.6%	15	9,230	5.8%	17	1,161	9.8%	31	57,418	36
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	47,825,580	1.2%	25	9,633	6.0%	15	1,352	11.4%	27	35,374	51
1304	椎間板障害	13,193,237	0.3%	63	2,302	1.4%	56	463	3.9%	60	28,495	63
1305	頸腕症候群	4,352,250	0.1%	92	2,898	1.8%	49	394	3.3%	67	11,046	102
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	23,655,448	0.6%	44	10,811	6.8%	12	1,739	14.6%	18	13,603	90
1307	その他の脊柱障害	8,051,358	0.2%	78	1,915	1.2%	58	347	2.9%	68	23,203	71
1308	肩の傷害<損傷>	10,786,881	0.3%	69	4,499	2.8%	38	638	5.4%	48	16,907	79
1309	骨の密度及び構造の障害	47,759,157	1.2%	26	8,548	5.4%	19	1,114	9.4%	34	42,872	46
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	54,544,730	1.3%	22	8,792	5.5%	18	1,829	15.4%	16	29,822	61

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,095,166,940	159,669	11,883

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	402,067,434	9.8%		16,486	10.3%		3,118	26.2%		128,950	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	12,455,471	0.3%	65	1,668	1.0%	62	431	3.6%	63	28,899	62
1402 腎不全	317,972,410	7.8%	1	3,999	2.5%	39	396	3.3%	66	802,961	2
1403 尿管結石症	6,416,354	0.2%	84	1,016	0.6%	73	269	2.3%	73	23,853	69
1404 その他の腎尿路系の疾患	25,450,823	0.6%	40	6,328	4.0%	26	1,669	14.0%	19	15,249	84
1405 前立腺肥大(症)	21,688,122	0.5%	51	4,501	2.8%	37	570	4.8%	53	38,049	48
1406 その他の男性生殖器系の疾患	931,941	0.0%	111	194	0.1%	105	62	0.5%	102	15,031	85
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	2,811,394	0.1%	99	840	0.5%	78	224	1.9%	79	12,551	96
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	14,340,919	0.4%	59	1,431	0.9%	68	692	5.8%	44	20,724	74
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	9,022,713	0.2%		129	0.1%		62	0.5%		145,528	
1501 流産	1,061,026	0.0%	110	20	0.0%	116	8	0.1%	116	132,628	21
1502 妊娠高血圧症候群	505,067	0.0%	115	4	0.0%	119	2	0.0%	119	252,534	9
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	7,456,620	0.2%	79	107	0.1%	110	55	0.5%	105	135,575	19
XVI. 周産期に発生した病態	12,777,022	0.3%		38	0.0%		24	0.2%		532,376	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	8,426,410	0.2%	73	17	0.0%	117	8	0.1%	116	1,053,301	1
1602 その他の周産期に発生した病態	4,350,612	0.1%	93	32	0.0%	114	20	0.2%	113	217,531	11
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	8,470,258	0.2%		491	0.3%		138	1.2%		61,379	
1701 心臓の先天奇形	411,710	0.0%	116	122	0.1%	109	23	0.2%	112	17,900	78
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	8,058,548	0.2%	77	386	0.2%	95	119	1.0%	91	67,719	31
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	61,630,554	1.5%		15,599	9.8%		3,714	31.3%		16,594	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	61,630,554	1.5%	17	15,599	9.8%	7	3,714	31.3%	4	16,594	81
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	151,332,793	3.7%		8,552	5.4%		2,450	20.6%		61,768	
1901 骨折	77,941,678	1.9%	13	2,922	1.8%	48	607	5.1%	49	128,405	24
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	13,035,701	0.3%	64	199	0.1%	103	93	0.8%	95	140,169	18
1903 熱傷及び腐食	2,211,860	0.1%	101	130	0.1%	108	63	0.5%	101	35,109	52
1904 中毒	1,465,776	0.0%	104	477	0.3%	93	248	2.1%	77	5,910	112
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	56,677,778	1.4%	20	5,519	3.5%	31	1,875	15.8%	15	30,228	59
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	6,559,199	0.2%		2,624	1.6%		490	4.1%		13,386	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	5,385	0.0%	121	3	0.0%	121	1	0.0%	122	5,385	115
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	2,495	0.0%	123	3	0.0%	121	3	0.0%	118	832	123
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	4,095,166,940	159,669	11,883

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	6,265	0.0%	120	2	0.0%	123	1	0.0%	122	6,265	109
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	6,545,054	0.2%	82	2,618	1.6%	52	486	4.1%	58	13,467	91
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		1,386,090	0.0%		500	0.3%		112	0.9%		12,376	
9999	分類外	1,386,090	0.0%	105	500	0.3%	90	112	0.9%	92	12,376	97

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

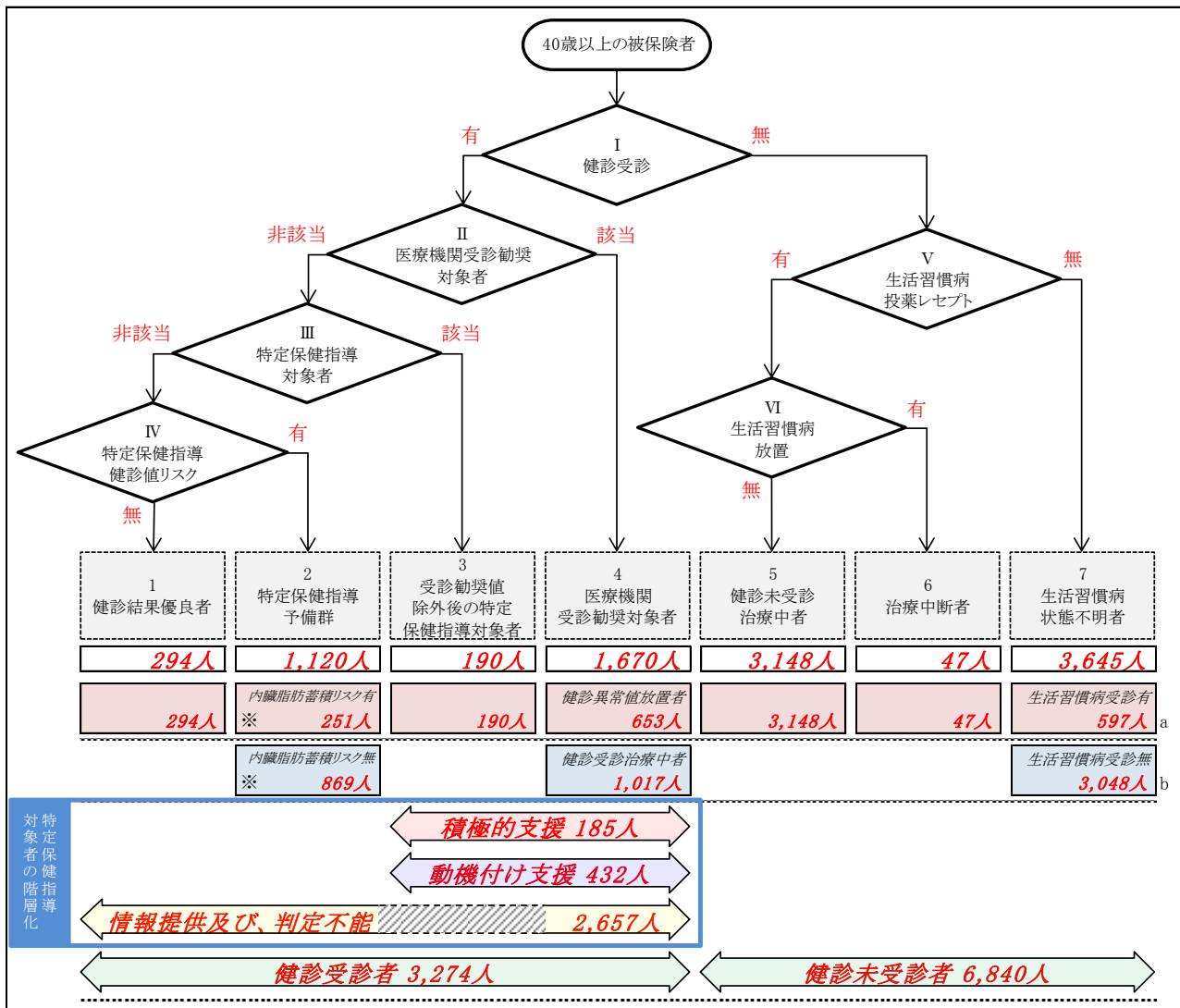
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

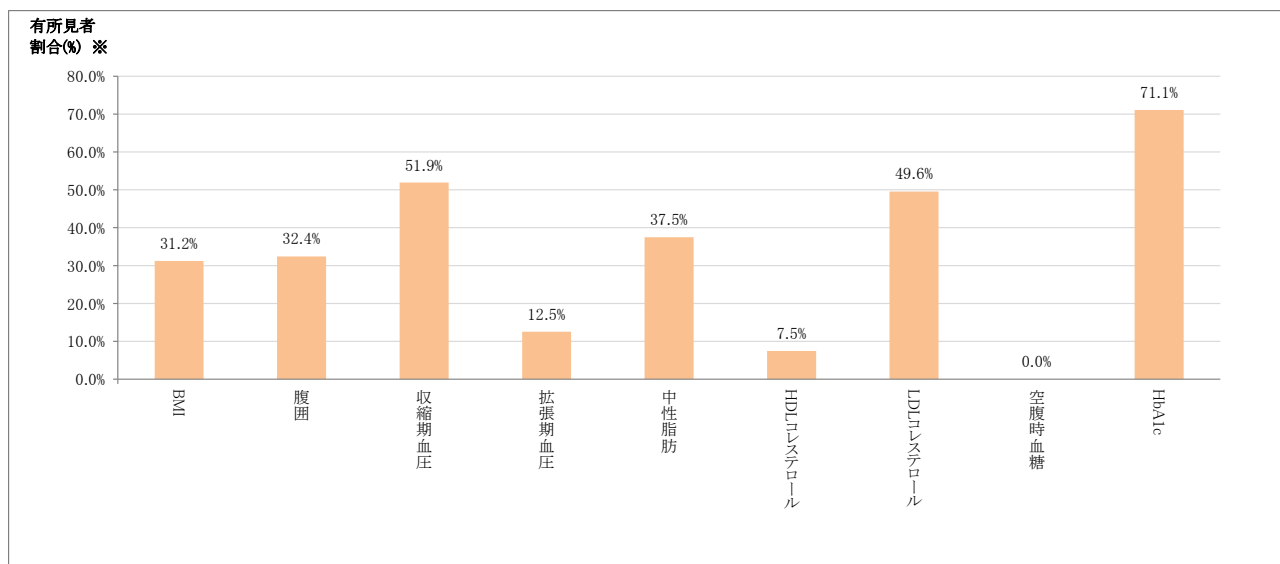
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	3,274	3,274	3,274	3,274
有所見者数(人) ※	1,022	1,061	1,700	410
有所見者割合(%) ※	31.2%	32.4%	51.9%	12.5%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	3,274	3,274	3,274	0	3,274
有所見者数(人) ※	1,228	245	1,623	0	2,328
有所見者割合(%) ※	37.5%	7.5%	49.6%	0.0%	71.1%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

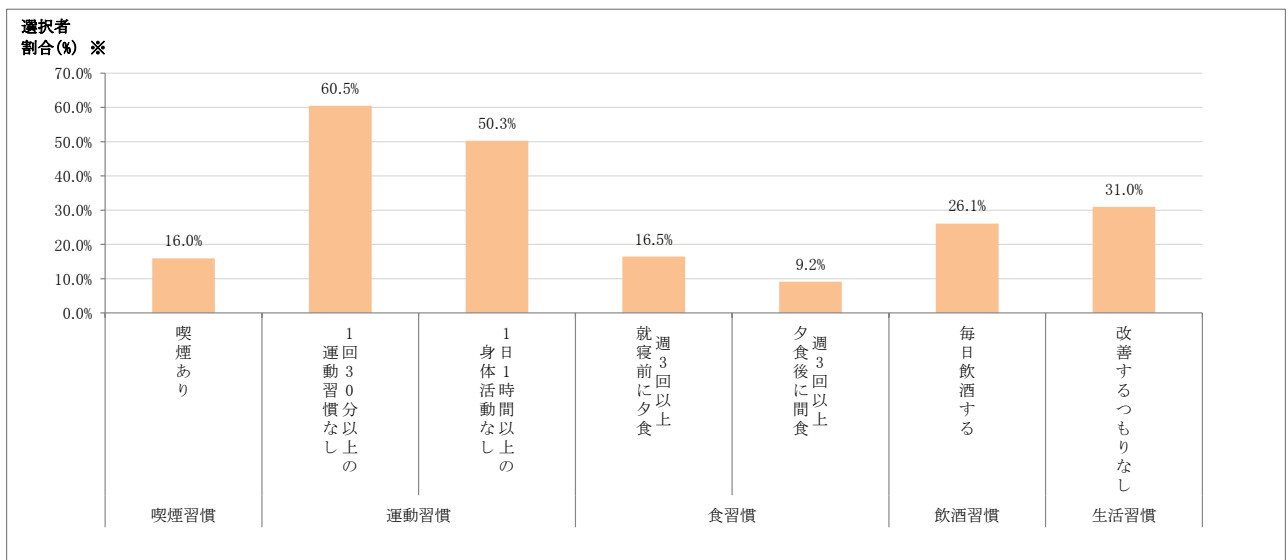
空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

	喫煙習慣	運動習慣	
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	3,274	3,274	3,274
選択者数(人) ※	523	1,980	1,647
選択者割合(%) ※	16.0%	60.5%	50.3%

	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	3,274	3,274	3,274	3,274
選択者数(人) ※	539	300	855	1,014
選択者割合(%) ※	16.5%	9.2%	26.1%	31.0%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は617人である。このうち、積極的支援の対象者は185人、動機付け支援の対象者は432人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者		
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			617人		
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	29人	185人	30%
	●	●	●			血糖+血圧+脂質	52人		
	●	●		●	因子数3	血糖+血圧+喫煙	7人		
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	15人		
		●	●	●	因子数2	血圧+脂質+喫煙	14人		
	●	●				血糖+血圧	27人		
	●		●			血糖+脂質	14人		
		●	●			血圧+脂質	15人		
	●			●		血糖+喫煙	8人		
		●		●		血圧+喫煙	3人		
			●	●	因子数1	脂質+喫煙	1人		
	●					血糖	0人		
		●				血圧	0人		
			●			脂質	0人		
動機付け支援				●	因子数4	喫煙	0人	432人	70%
	●	●	●	●		血糖+血圧+脂質+喫煙	17人		
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	88人		
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	14人		
	●		●	●	因子数2	血糖+脂質+喫煙	9人		
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	4人		
	●	●				血糖+血圧	89人		
	●		●			血糖+脂質	51人		
		●	●		因子数1	血圧+脂質	19人		
	●			●		血糖+喫煙	3人		
		●		●		血圧+喫煙	4人		
	●		●	●	因子数1	脂質+喫煙	3人		
	●					血糖	69人		
		●				血圧	40人		
		●		脂質		22人			
			●	喫煙	0人				

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

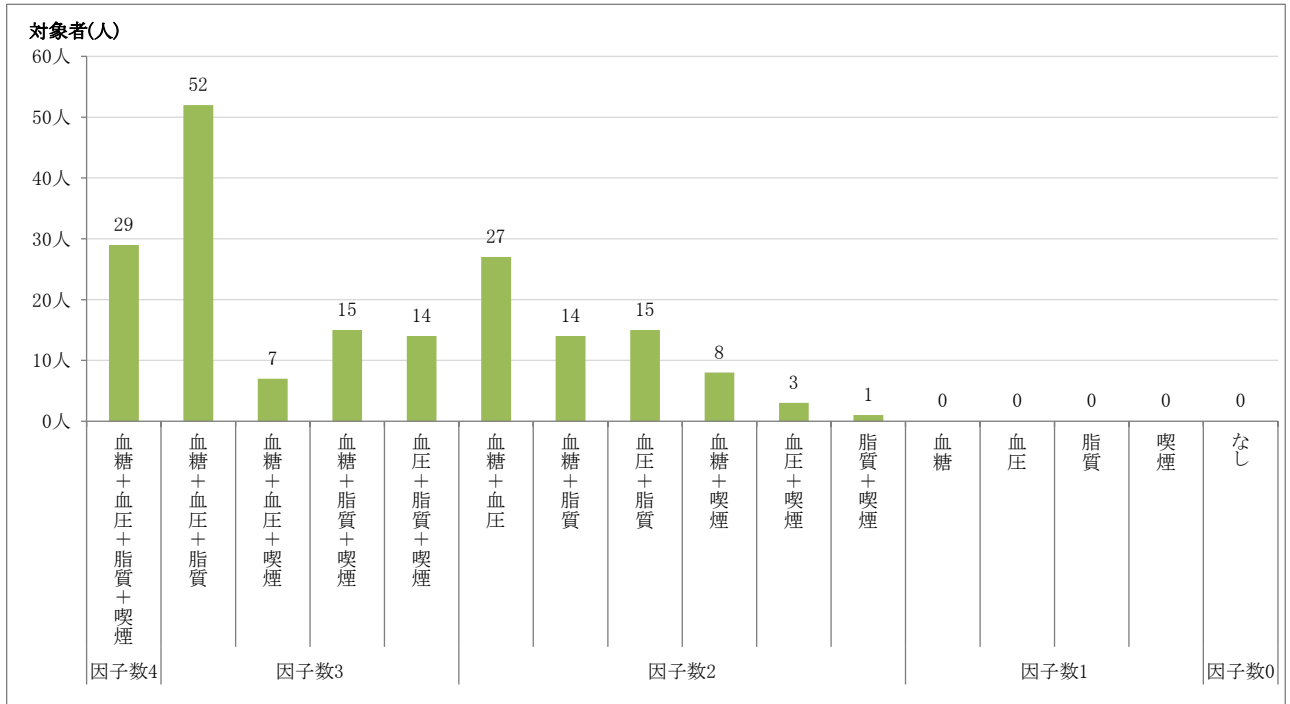
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

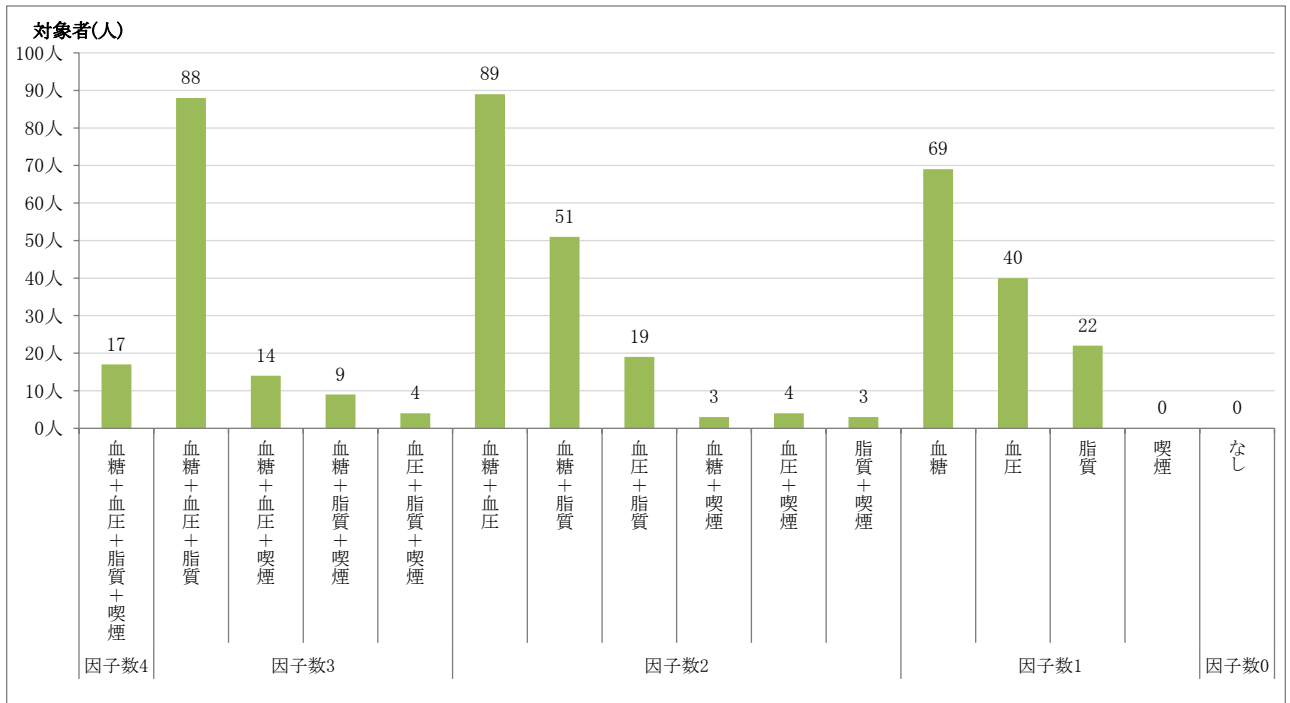
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する653人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	653 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定	
	除外理由別人数
除外	がん、難病等
	138 人
↓	
除外患者を除いた候補者数	515 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者515人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 1人	候補者C 5人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 25人	候補者D 84人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 89人	候補者F 311人
	喫煙	非喫煙	
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			515人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者66人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	候補者人数 47 人
	上記以外のグループ	19 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		66 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
除外	がん、難病等	除外理由別人数 1 人
		除外患者を除き、候補者となった患者数 65 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者65人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 1人	候補者A2 3人	候補者A3 1人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 1人	候補者B2 5人	候補者B3 10人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 4人	候補者C2 16人	候補者C3 24人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				65人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、51.4%が生活習慣を起因とするものであり、その51.4%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

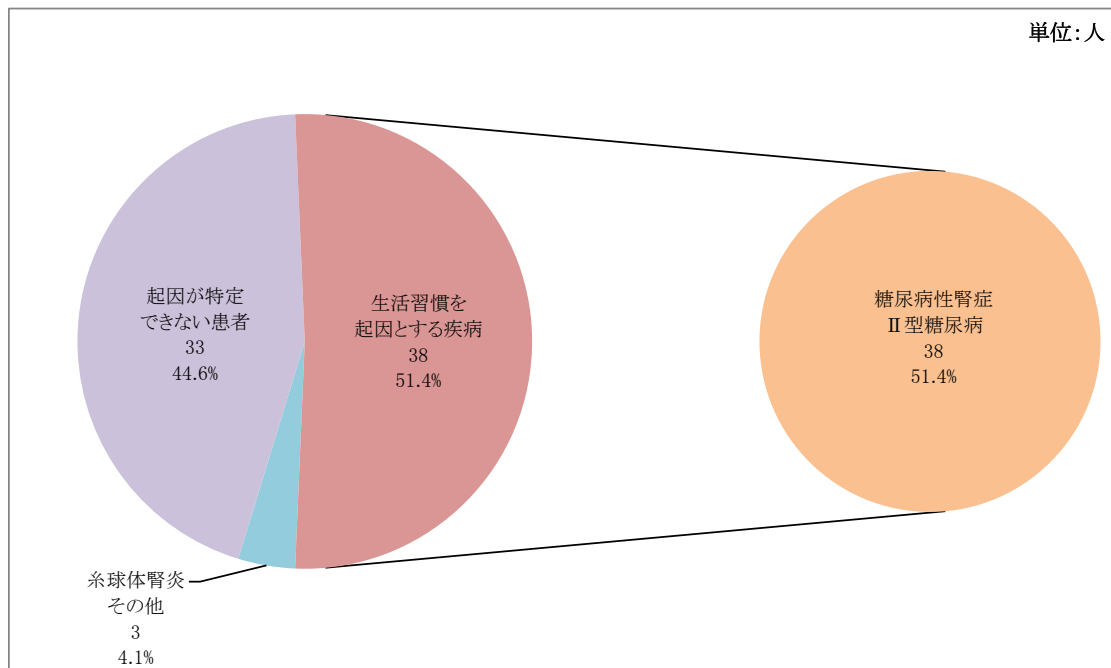
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	70
腹膜透析のみ	2
血液透析及び腹膜透析	2
透析患者合計	74

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

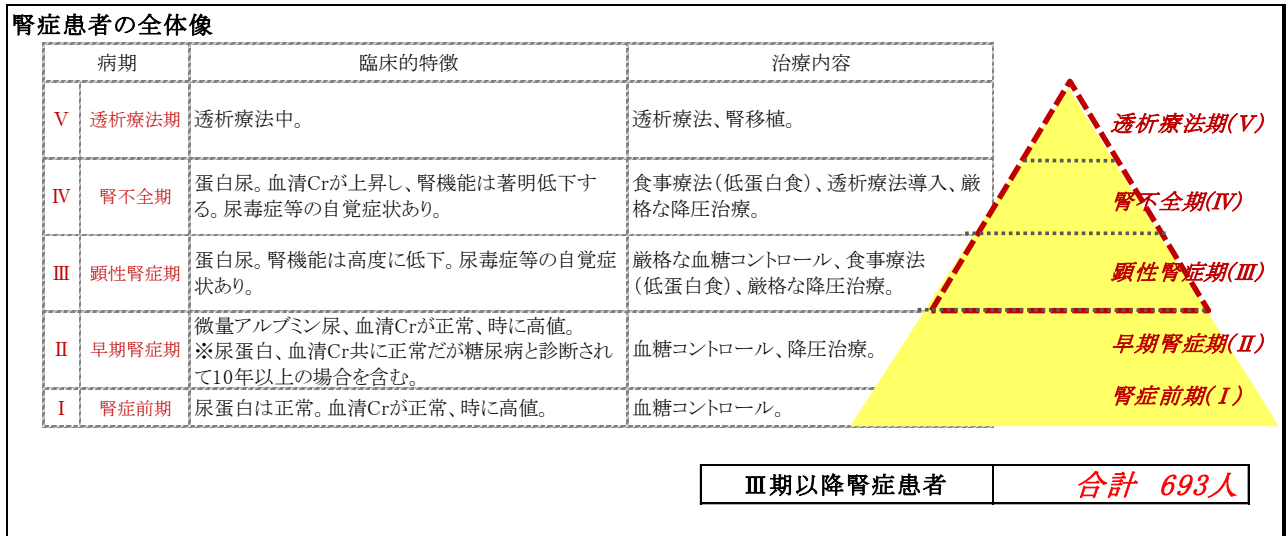
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者693人中158人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

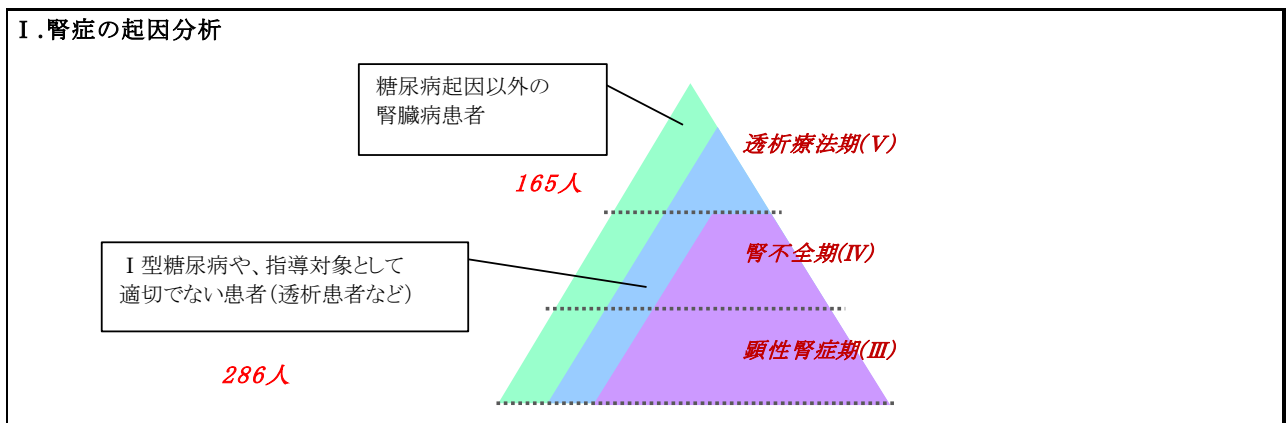
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、165人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、286人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

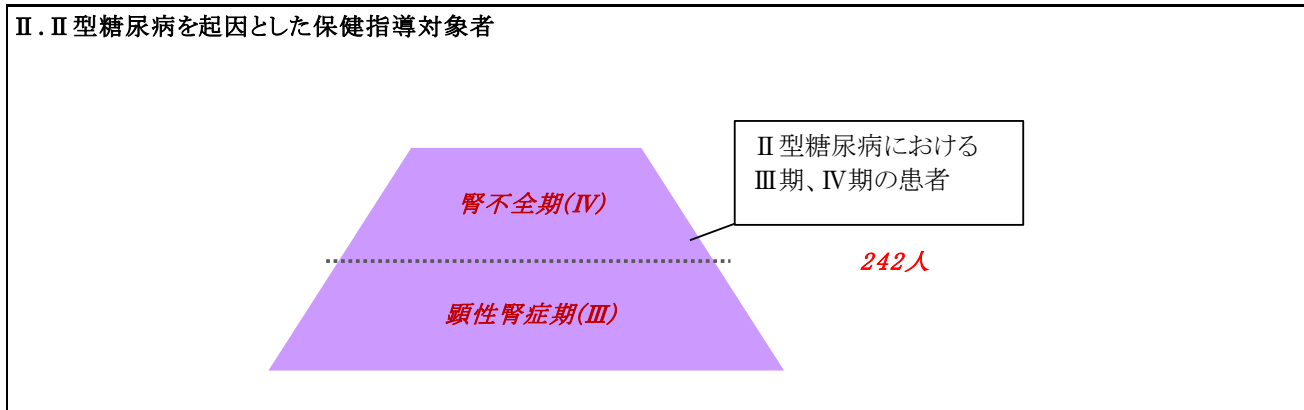
腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて242人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行に近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

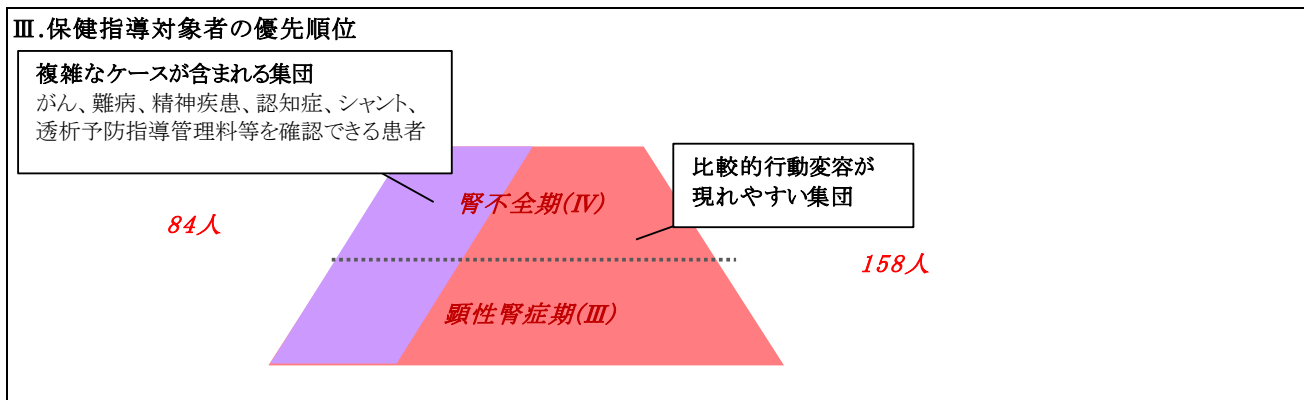


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。242人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、84人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、158人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

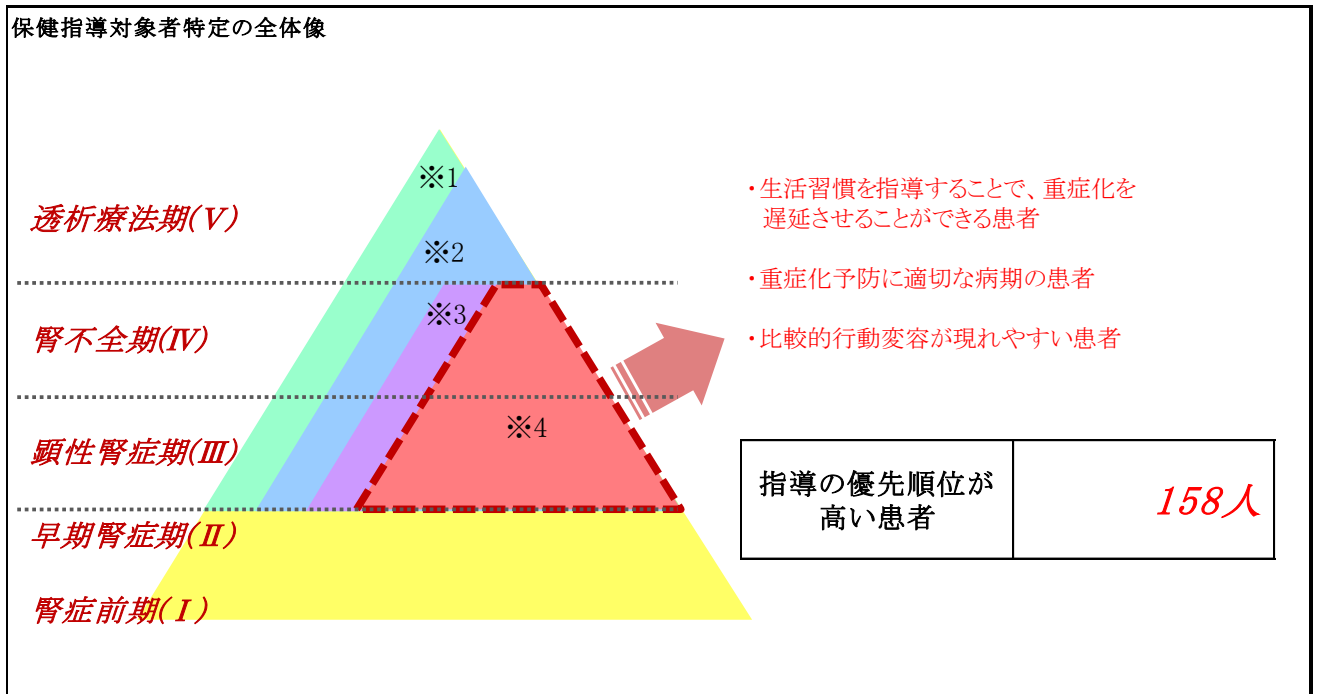
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、158人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) *	5	4	8	3	7	5	6	5	13	8	6	9
12カ月間の延べ人数											79	
12カ月間の実人数											54	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) *	23	25	24	31	25	21	30	23	22	22	16	17
12カ月間の延べ人数											279	
12カ月間の実人数											100	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) *	5	26	30	26	27	34	35	39	30	44	45	57
12カ月間の延べ人数											398	
12カ月間の実人数											244	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は54人、頻回受診者は100人、重複服薬者は244人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者 ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者 	
条件設定により候補者となった患者数	369 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0 人	279 人
除外②	がん、難病等 ※	279 人	
除外患者を除き、候補者となった患者数		90 人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者90人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは8人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 2人	候補者C 0人	候補者 としない 82人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 4人	候補者D 0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 1人	候補者F 1人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数			8人	

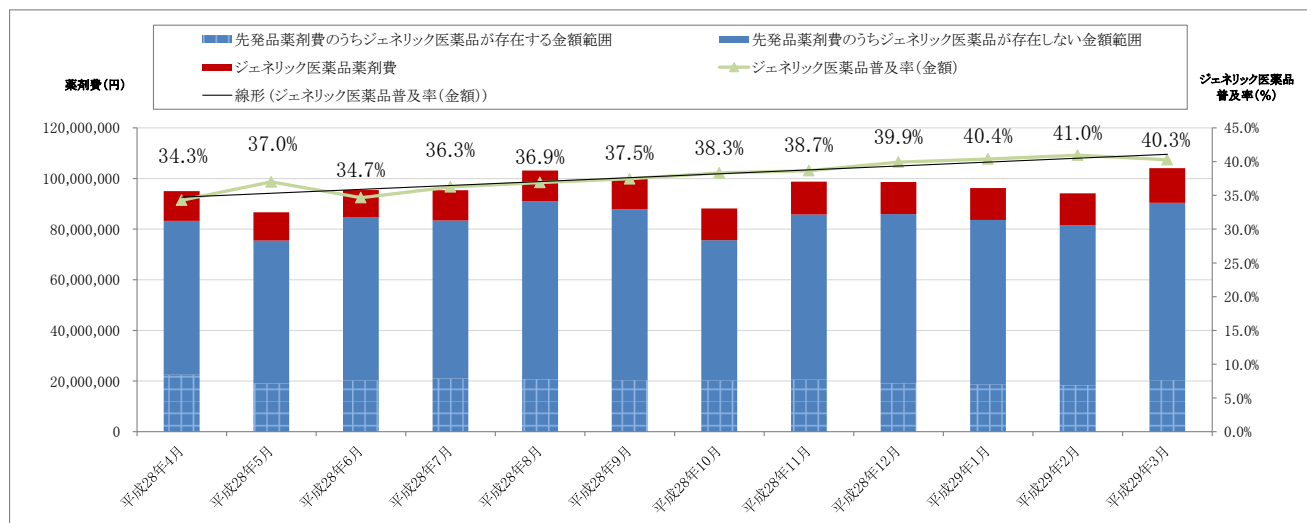
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は37.9%(金額ベース)、65.0%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

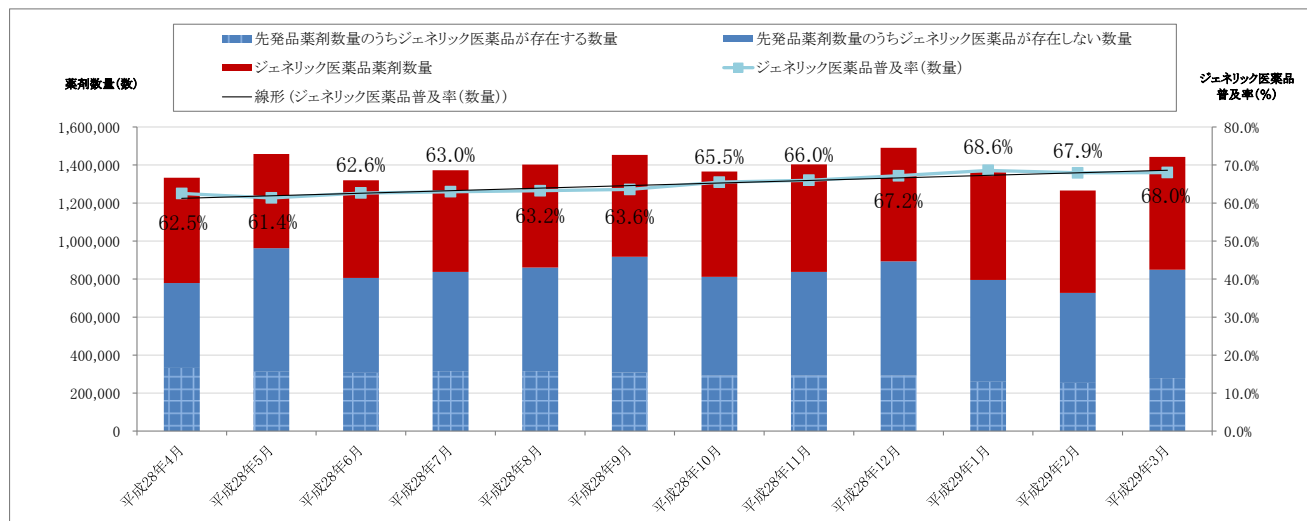


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



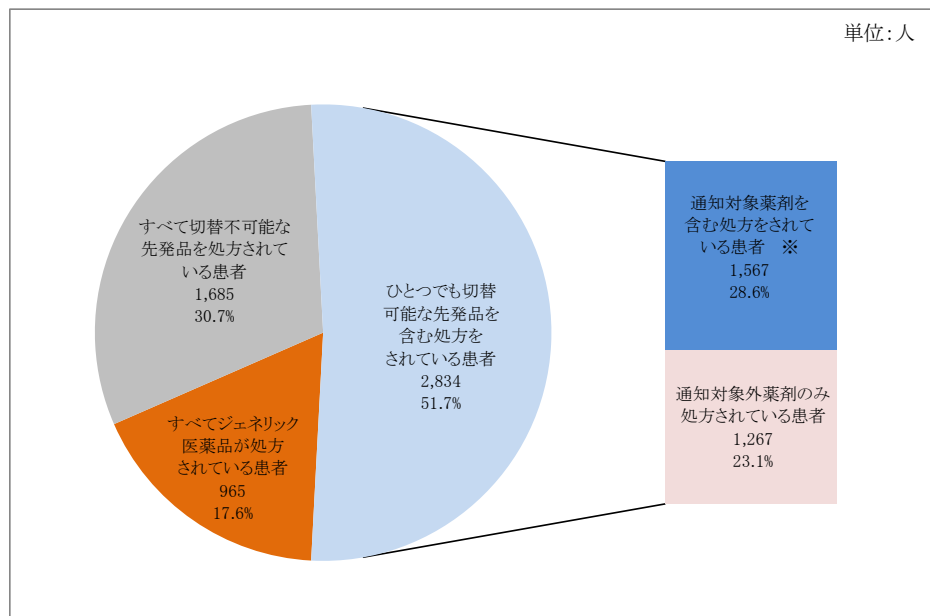
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は5,484人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は2,834人で患者数全体の51.7%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、1,567人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の28.6%となる。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(9) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

現在、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の対象者延べ人数は888人、実人数は672人である。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
薬剤併用禁忌対象者数(人)※	62	52	34	30	44	60	80	95	102	136	112	81
12カ月間の延べ人数											888	
12カ月間の実人数											672	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

実人数(人)	672
件数合計(件)	1,177

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	119
2	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002038	コカール錠200mg	96
3	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	79
4	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620160801	トワチチーム配合顆粒	73
5	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	69
6	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160501	PL配合顆粒	60
7	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620161401	ビーエイ配合錠	59
8	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	51
9	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620160801	トワチチーム配合顆粒	45
10	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	35
11	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	34
12	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	30
13	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	27
14	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	23
15	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	21
16	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	611170296	ハロステン錠2mg	17
17	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	17
18	内服	620003560	スピロラクトン錠25mg「トワ」	内服	613990096	プログラフカプセル1mg	15
19	内服	610444107	パチール錠200mg	内服	620142805	ハロペリドール錠0.75mg「JG」	15
20	内服	610444107	パチール錠200mg	内服	622047601	ベンケアOD錠5mg	15
21	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	15
22	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	14
23	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	14
24	内服	621522601	アセトアミノフェン錠200mg「テバ」	内服	620161401	ビーエイ配合錠	13
25	内服	610451012	イミグラン錠50 50mg	内服	621499601	クリアミン配合錠A1.0	12
26	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	12
27	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160801	トワチチーム配合顆粒	11
28	内服	621522601	アセトアミノフェン錠200mg「テバ」	内服	620160601	サラザック配合顆粒	9
29	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	620002038	コカール錠200mg	9
30	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	8
31	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	8
32	内服	622119401	ナテグリド錠90mg「マイラン」	内服	622037901	グリメジドOD錠1mg「ケミファ」	8
33	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	622081101	トラムセット配合錠	5
34	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	622081101	トラムセット配合錠	5
35	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	5
36	内服	621499601	クリアミン配合錠A1.0	内服	610462006	レルバックス錠20mg	5
37	内服	620001908	グルファスト錠10mg	内服	621982701	アマリール0.5mg錠	5
38	内服	613990096	プログラフカプセル1mg	内服	620004915	アルダクトンA錠25mg	5
39	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621950801	シムビコートタービュヘイラー60吸入	5
40	内服	621683101	アセトアミノフェン錠200mg「トワ」	内服	621498101	カフコデN配合錠	4
41	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	3
42	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	3
43	内服	621683101	アセトアミノフェン錠200mg「トワ」	内服	620160501	PL配合顆粒	3
44	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160801	トワチチーム配合顆粒	3
45	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	3
46	内服	612310013	タンナルビン「ホエイ」	内服	620729301	フェルムカプセル100mg 鉄100mg	3
47	内服	612310013	タンナルビン「ホエイ」	内服	620729101	フェログラデュメット錠105mg	3
48	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	620161401	ビーエイ配合錠	3
49	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621829501	アドエア100ディスカス60吸入用 60プリスター	3
50	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621829601	アドエア250ディスカス60吸入用 60プリスター	3

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リストは51件以上省略

(10) 服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起りやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起りやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起りやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関の受診があり6種類以上の薬剤を14日以上服薬している対象者は493人である。

薬剤種類数別対象者数

年齢階層	対象者数(人)									
	～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～	合計	
被保険者数(人)	2,745	675	748	714	911	1,713	3,245	3,796	14,547	
薬剤種類数	1種類	28	6	5	6	7	17	44	40	153
	2種類	19	7	9	4	7	28	58	51	183
	3種類	17	4	11	5	9	25	76	66	213
	4種類	16	3	4	7	11	16	71	80	208
	5種類	9	7	6	5	11	20	69	67	194
	6種類	4	1	3	5	10	18	42	60	143
	7種類	5	1	4	2	5	7	33	31	88
	8種類	4	1	4	4	1	7	27	29	77
	9種類	1	1	4	3	1	9	15	21	55
	10種類	4	2	1	4	4	6	12	15	48
	11種類	0	0	0	3	0	2	8	11	24
	12種類	1	1	0	2	2	2	4	14	26
	13種類	0	0	0	1	0	3	1	6	11
	14種類	0	0	1	0	0	0	0	2	3
	15種類	0	0	0	1	1	1	1	4	8
	16種類	1	0	0	0	0	1	1	0	3
	17種類	0	0	0	0	0	1	1	1	3
	18種類	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	19種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20種類	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	21種類以上	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	110	34	53	52	69	165	463	498	1,444	



長期多剤服薬者数(人)※	493
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

また、長期多剤服薬者493人が被保険者全体に占める割合は3.4%、長期服薬者全体に占める割合は34.1%である。

長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	2,745	675	748	714	911	1,713	3,245	3,796	14,547
B	長期服薬者数(人)※	110	34	53	52	69	165	463	498	1,444
C	長期多剤服薬者数(人)※	21	7	18	25	24	59	145	194	493
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	0.8%	1.0%	2.4%	3.5%	2.6%	3.4%	4.5%	5.1%	3.4%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	19.1%	20.6%	34.0%	48.1%	34.8%	35.8%	31.3%	39.0%	34.1%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期服薬者数…1種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

5. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	循環器系の疾患	650,390,419円
2位	新生物<腫瘍>	633,864,504円
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	411,203,838円

患者数が多い疾病		患者数
1位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	6,329人
2位	呼吸器系の疾患	6,146人
3位	消化器系の疾患	5,826人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	周産期に発生した病態	532,376円
2位	精神及び行動の障害	254,937円
3位	新生物<腫瘍>	171,500円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	腎不全	317,972,410円
2位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	245,957,334円
3位	糖尿病	230,234,531円

患者数が多い疾病		患者数
1位	糖尿病	4,768人
2位	高血圧性疾患	4,454人
3位	その他の消化器系の疾患	3,782人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,053,301円
2位	腎不全	802,961円
3位	白血病	629,535円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	1,216件
高額レセプト件数割合	0.8%
高額レセプト医療費割合	30.8%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	アルコール性肝疾患	8,258,400円
2位	慢性閉塞性肺疾患	6,492,440円
3位	その他の精神及び行動の障害	6,318,610円

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	653人
----------	------

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	66人
------------	-----

【人工透析患者の状況】

人工透析患者	74人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	38人

【医療機関受診状況】

重複受診者	54人
頻回受診者	100人
重複服薬者	244人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	65.0%
--------------	-------

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	672人
-----------	------

【服薬状況】

長期多剤服薬者	493人
---------	------

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の受診勧奨 ・特定保健指導の実施
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者 健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健診異常値放置者受診勧奨 ・生活習慣病治療中断者受診勧奨
<p>◆糖尿病性腎症及び糖尿病重症化予防 糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に対象者を把握し保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができる。と考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率 国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品差額通知

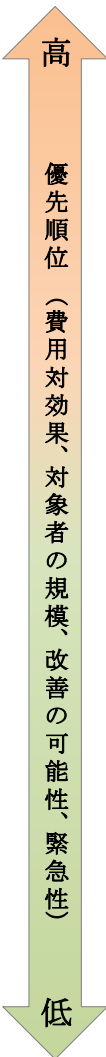
第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要
特定健診未受診者対策事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受けていない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話で行う。
糖尿病重症化予防及び糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病の重症化及び糖尿病性腎症の進行阻止	特定健康診査の結果と腎機能判定委員会の結果を基に対象者を選定し、対象者のステージに応じて正しい生活習慣や病気の知識の習得、また、必要に応じ受診勧奨を面談指導や電話指導で行う。
健診異常値者受診勧奨事業	健診異常値、且つ早期医療介入必要者の医療機関受診	特定健診の受診結果で早期に医療受診が必要な異常値がある対象者に対して面談や電話でアプローチし受診勧奨につなげる。
ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータからジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することでジェネリック医薬品への切り替えを促す。

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
対象者を特定し受診勧奨通知書を作成し郵送する。通知後に対象者が特定健康診査を受診したか確認する。	対象者への通知率100%	対象者の特定健康診査受診率30% 特定健康診査受診率60%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データより検査値の推移を確認する。	対象者への通知率100%	特定保健指導実施率60%
対象者の状況に応じた保健指導を訪問・電話で行う。 既治療者に対しては、レセプトデータで通院の有無を確認する。	対象者の指導実施率60%	指導実施者の検査値改善率30% 糖尿病性腎症での新規透析導入者の減少
対象者に対して面談や電話で受診勧奨する。勧奨時に受診連絡票を発行し医療機関受診があるか確認する。	対象者へのアプローチ率90%以上	医療機関受診率80%
ジェネリック医薬品差額通知書を作成し郵送する。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し継続を検討する。	対象者への通知率100%	ジェネリック医薬品数量シェア80%



2. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	第1期		第2期					
	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
特定健康診査 受診勧奨事業	実施	評価	P	D	CA	P	D	CA
特定保健指導事業	実施	評価	P	D	CA	P	D	CA
糖尿病性腎症 重症化予防事業	実施	評価	P	D	CA	P	D	CA
健診異常値放置者 受診勧奨事業	実施	評価	P	D	CA	P	D	CA
ジェネリック 医薬品差額通知事業	実施	評価	P	D	CA	P	D	CA

P : Plan (計画)、D : Do (実行)、C : Check (評価)、A : Act (改善)

3. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

(1) 特定健診未受診者対策事業

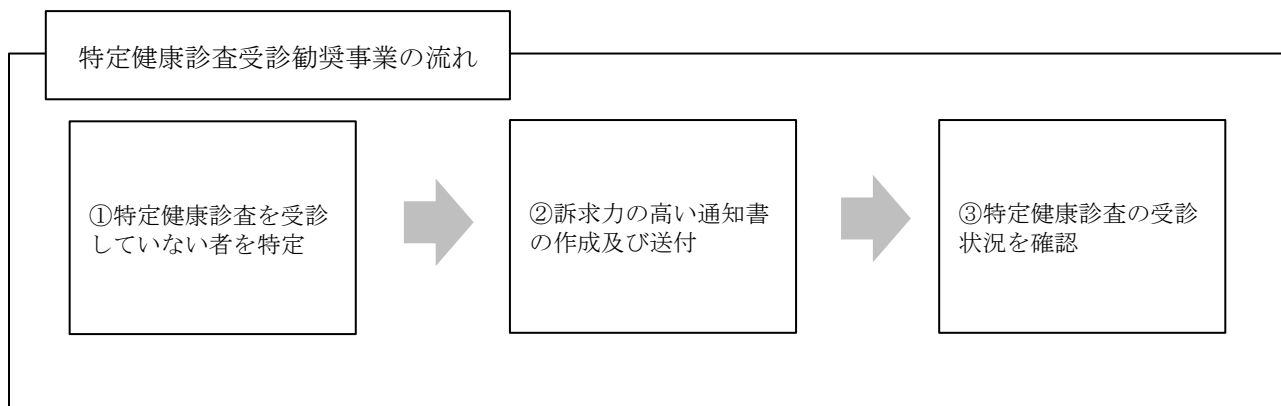
【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期 対象者の特定健康診査受診率 30%	事業対象者のうち特定健康診査を受診した人数より確認する。
	中長期 特定健康診査受診率 60%	特定健康診査受診率を確認する。

(2) 特定保健指導事業

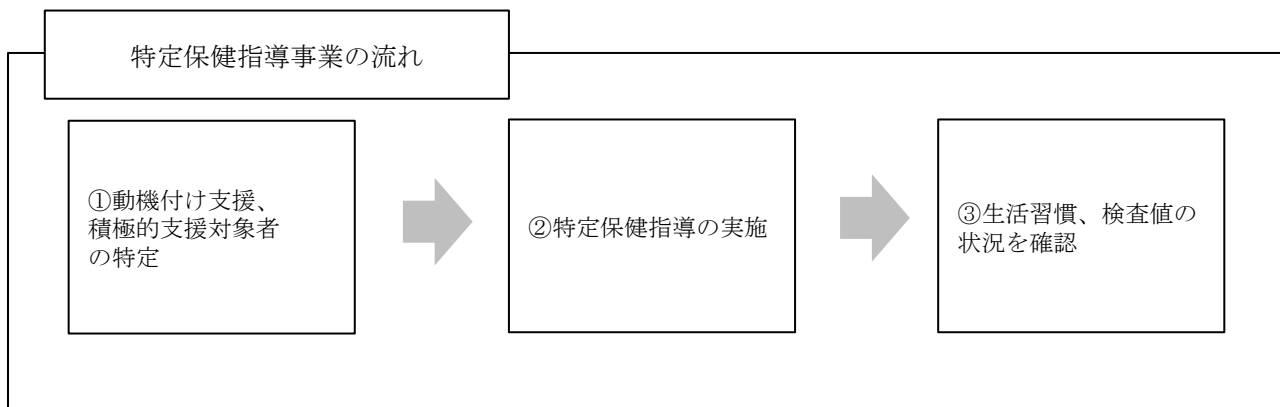
【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行う。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
		目標	評価方法
対象者への通知率 100%	短期	対象者の減少	特定保健指導対象者を確認する。
	中長期	特定保健指導実施率60%	特定保健指導実施率を確認する。

(3) 糖尿病重症化予防及び糖尿病性腎症重症化予防事業

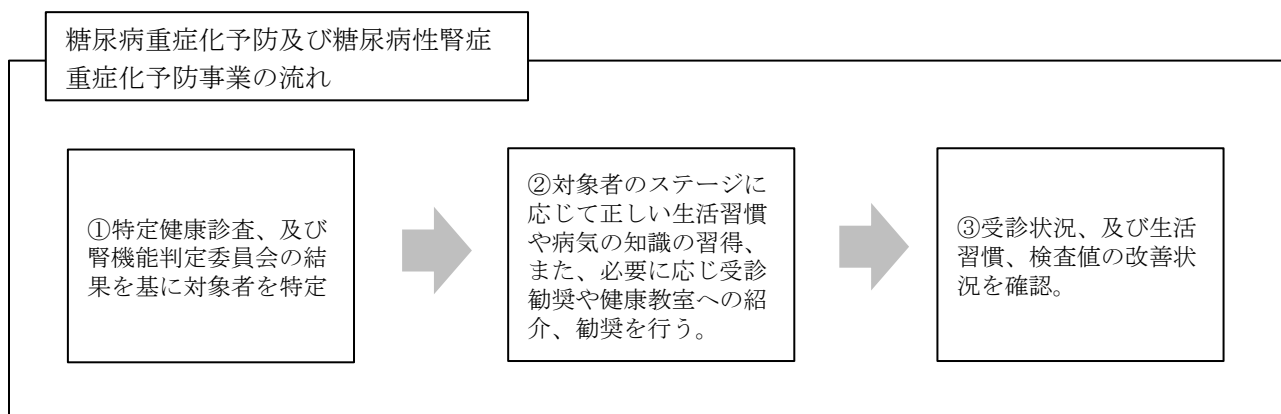
【事業目的】

糖尿病重症化及び糖尿病性腎症の進行阻止

【実施概要】

特定健康診査の結果と腎機能判定委員会の結果を基に対象者を選定し、対象者のステージに応じて正しい生活習慣や病気の知識の習得、また、必要に応じ受診勧奨を面談指導や電話指導で行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値	評価方法	
対象者の指導実施率 60% 以上	短期	指導実施者の検査値改善率 30%	事業実施後の結果から、生活習慣や検査値の改善状況を確認する。
	中長期	糖尿病性腎症での新規透析導入者の減少	

(4) 健診異常値放置者受診勧奨事業

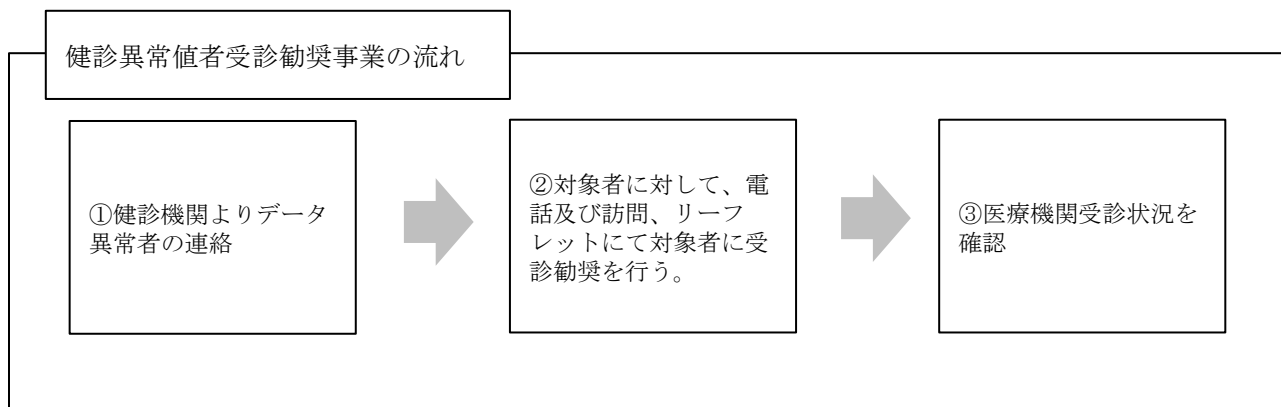
【事業目的】

健診異常値、且つ早期医療介入必要者の医療機関受診

【実施概要】

特定健診の受診結果で早期に医療受診が必要な異常値がある対象者に対して面談や電話で受診勧奨する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者へのアプローチ率 90%以上	短期	
	中長期	対象者の医療機関受診率 医療機関受診率 80%

(5) ジェネリック医薬品差額通知事業

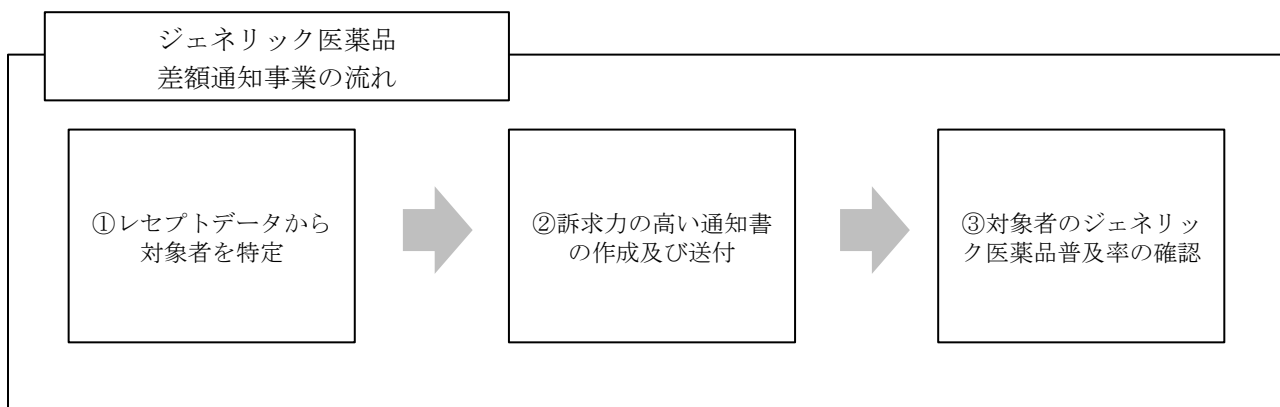
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

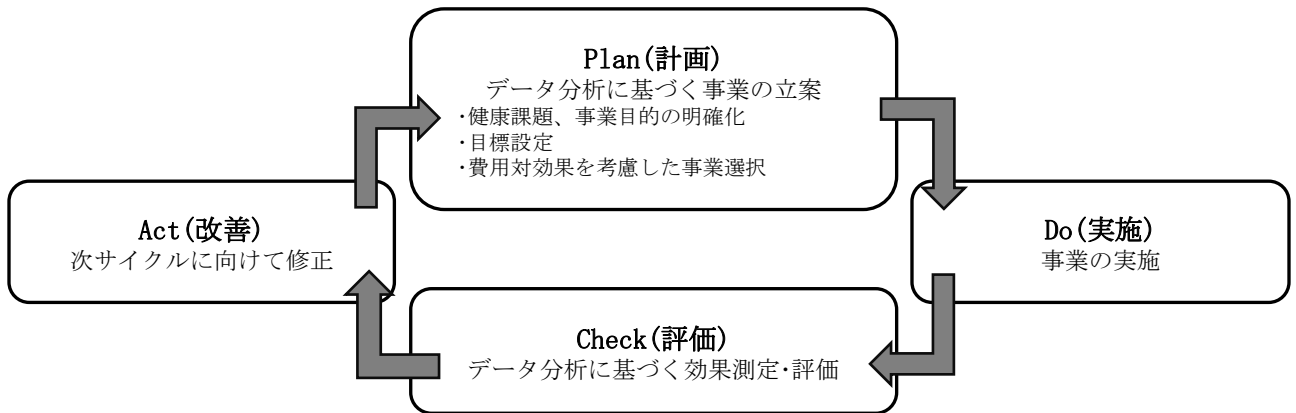
アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期	通知対象者のジェネリック医薬品数量シェア 80% 通知前後のジェネリック医薬品数量シェアを確認する。
	中長期	ジェネリック医薬品数量シェア 80% ジェネリック医薬品数量シェアを確認する。

1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、あらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。

3. 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」、「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」及び「いすみ市個人情報保護条例」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

地区分析

1. 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

夷隅地区	大原地区	岬地区	その他
------	------	-----	-----

【夷隅地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	18,120,775	2.9%	12	2,000	13	511	10	35,461	11
II. 新生物<腫瘍>	73,164,705	11.8%	2	2,565	9	662	6	110,521	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,870,410	0.5%	15	755	15	213	15	13,476	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	66,514,100	10.8%	3	9,168	2	1,065	1	62,455	7
V. 精神及び行動の障害	59,610,179	9.6%	6	2,707	7	244	14	244,304	1
VI. 神経系の疾患	26,505,164	4.3%	10	4,192	6	433	12	61,213	8
VII. 眼及び付属器の疾患	18,744,552	3.0%	11	2,268	11	548	8	34,205	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,671,510	0.3%	17	473	17	140	16	11,939	19
IX. 循環器系の疾患	101,635,042	16.5%	1	9,692	1	1,006	2	101,029	4
X. 呼吸器系の疾患	38,412,078	6.2%	7	4,523	5	909	4	42,258	9
X I. 消化器系の疾患 ※	35,424,520	5.7%	8	6,782	3	920	3	38,505	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,965,703	1.1%	14	2,067	12	488	11	14,274	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	65,990,278	10.7%	4	6,734	4	830	5	79,506	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	64,885,057	10.5%	5	2,657	8	529	9	122,656	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	16,810	0.0%	20	3	20	1	20	16,810	14
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	203,316	0.0%	18	63	19	25	18	8,133	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,689,992	1.2%	13	2,433	10	557	7	13,806	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	27,058,145	4.4%	9	1,450	14	376	13	71,963	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,137,505	0.3%	16	504	16	85	17	25,147	13
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	198,929	0.0%	19	98	18	15	19	13,262	18
合計	617,818,770			25,179		1,785		346,117	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

夷隅地区	大原地区	岬地区	その他
------	------	-----	-----

【大原地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	77,577,710	4.2%	9	5,696	13	1,426	10	54,402	12
II. 新生物<腫瘍>	269,739,038	14.7%	2	5,982	12	1,577	8	171,046	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	18,767,341	1.0%	15	1,802	15	443	15	42,364	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	198,504,246	10.8%	3	30,095	2	2,932	1	67,703	9
V. 精神及び行動の障害	156,689,487	8.5%	6	6,437	11	592	14	264,678	2
VI. 神経系の疾患	67,723,648	3.7%	10	11,925	6	1,230	12	55,060	11
VII. 眼及び付属器の疾患	43,444,735	2.4%	12	7,093	9	1,730	6	25,113	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	5,513,454	0.3%	19	1,484	16	400	16	13,784	20
IX. 循環器系の疾患	302,196,714	16.5%	1	30,973	1	2,638	4	114,555	6
X. 呼吸器系の疾患	95,405,956	5.2%	8	15,410	5	2,779	2	34,331	15
X I. 消化器系の疾患 ※	126,594,531	6.9%	7	21,395	3	2,651	3	47,754	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	27,222,059	1.5%	13	7,711	7	1,575	9	17,284	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	157,466,852	8.6%	5	17,939	4	2,190	5	71,903	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	171,267,419	9.3%	4	7,470	8	1,354	11	126,490	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	5,542,666	0.3%	18	66	20	33	20	167,960	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	11,324,501	0.6%	16	27	21	18	21	629,139	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	5,579,941	0.3%	17	262	18	62	18	89,999	7
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24,920,666	1.4%	14	6,998	10	1,634	7	15,251	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	67,128,684	3.7%	11	3,568	14	1,066	13	62,972	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,391,808	0.1%	20	1,106	17	216	17	11,073	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	802,134	0.0%	21	223	19	54	19	14,854	19
合計	1,835,803,590			74,714		5,304		346,117	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

夷隅地区	大原地区	岬地区	その他
------	------	-----	-----

【岬地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	44,944,823	3.5%	11	3,972	13	1,143	10	39,322	12
II. 新生物<腫瘍>	174,511,702	13.5%	2	4,470	12	1,239	7	140,849	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	7,345,959	0.6%	15	1,473	15	366	15	20,071	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	130,092,913	10.1%	4	17,970	2	1,998	2	65,112	8
V. 精神及び行動の障害	127,578,739	9.9%	5	5,273	8	463	14	275,548	1
VI. 神経系の疾患	62,388,134	4.8%	9	8,169	6	841	13	74,183	7
VII. 眼及び付属器の疾患	36,559,636	2.8%	12	4,861	11	1,199	8	30,492	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	6,568,850	0.5%	16	1,168	16	365	16	17,997	17
IX. 循環器系の疾患	199,838,942	15.5%	1	18,810	1	1,814	4	110,165	6
X. 呼吸器系の疾患	80,506,036	6.2%	8	11,161	5	2,064	1	39,005	13
X I. 消化器系の疾患 ※	89,533,106	6.9%	7	13,445	3	1,866	3	47,981	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	17,728,199	1.4%	14	5,145	10	1,155	9	15,349	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	102,419,683	7.9%	6	11,795	4	1,575	5	65,028	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	133,767,960	10.3%	3	5,353	7	1,012	11	132,182	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,211,035	0.2%	17	41	20	16	20	138,190	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	630,005	0.0%	20	6	21	4	21	157,501	2
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,310,355	0.1%	19	151	18	42	18	31,199	14
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,950,382	1.7%	13	5,167	9	1,253	6	17,518	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	50,618,101	3.9%	10	3,076	14	860	12	58,858	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,915,894	0.1%	18	888	17	157	17	12,203	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	292,106	0.0%	21	146	19	33	19	8,852	21
合計	1,292,712,560			51,386		3,983		324,558	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

夷隅地区	大原地区	岬地区	その他
------	------	-----	-----

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	4,705,123	1.3%	15	772	12	236	8	19,937	18
II. 新生物<腫瘍>	116,449,059	33.4%	1	1,064	8	218	10	534,170	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	8,318,840	2.4%	10	347	15	111	15	74,945	9
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	16,092,579	4.6%	8	2,424	3	334	3	48,181	13
V. 精神及び行動の障害	19,661,356	5.6%	6	1,027	9	127	14	154,814	3
VI. 神経系の疾患	17,696,968	5.1%	7	1,604	6	185	12	95,659	8
VII. 眼及び付属器の疾患	5,265,693	1.5%	13	671	13	202	11	26,068	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	769,718	0.2%	19	144	16	52	16	14,802	19
IX. 循環器系の疾患	46,719,721	13.4%	2	2,673	1	305	4	153,179	4
X. 呼吸器系の疾患	21,220,252	6.1%	5	1,915	5	394	1	53,859	11
X I. 消化器系の疾患 ※	22,654,244	6.5%	4	2,584	2	389	2	58,237	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,068,602	1.5%	14	1,072	7	246	7	20,604	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	14,807,213	4.2%	9	2,028	4	293	5	50,537	12
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	32,146,998	9.2%	3	1,006	10	223	9	144,157	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,252,202	0.4%	17	19	19	12	18	104,350	7
X VI. 周産期に発生した病態 ※	822,516	0.2%	18	5	21	2	21	411,258	2
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,376,646	0.4%	16	15	20	9	20	152,961	5
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,069,514	2.0%	11	1,001	11	270	6	26,183	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,527,863	1.9%	12	458	14	148	13	44,107	14
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	113,992	0.0%	20	126	17	32	17	3,562	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	92,921	0.0%	21	33	18	10	19	9,292	20
合計	348,832,020			8,390		811		430,126	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

夷隅地区	大原地区	岬地区	その他
------	------	-----	-----

【夷隅地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	49,505,735	8.0%	61
2	0402 糖尿病	37,228,441	6.0%	787
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	35,307,201	5.7%	71
4	0901 高血圧性疾患	30,028,774	4.9%	752
5	0903 その他の心疾患	21,185,920	3.4%	451
6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	21,040,341	3.4%	303
7	1113 その他の消化器系の疾患	19,052,709	3.1%	602
8	0403 脂質異常症	18,881,852	3.1%	578
9	0906 脳梗塞	18,558,786	3.0%	154
10	1901 骨折	18,104,080	2.9%	116

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【大原地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	134,219,276	7.3%	191
2	0402 糖尿病	110,925,603	6.0%	2,266
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	109,110,005	5.9%	160
4	0901 高血圧性疾患	97,074,614	5.3%	2,095
5	0903 その他の心疾患	94,565,523	5.2%	890
6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	87,042,247	4.7%	576
7	1113 その他の消化器系の疾患	70,346,282	3.8%	1,762
8	0403 脂質異常症	57,088,016	3.1%	1,545
9	0105 ウイルス性肝炎	55,611,204	3.0%	211
10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	51,086,877	2.8%	180

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

夷隅地区	大原地区	岬地区	その他
------	------	-----	-----

【岬地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	110,428,379	8.5%	114
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	95,819,013	7.4%	137
3	0402 糖尿病	74,284,510	5.7%	1,490
4	0901 高血圧性疾患	61,196,670	4.7%	1,389
5	1113 その他の消化器系の疾患	55,840,037	4.3%	1,150
6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	53,194,188	4.1%	547
7	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	45,225,399	3.5%	137
8	0903 その他の心疾患	42,898,015	3.3%	711
9	0606 その他の神経系の疾患	36,559,833	2.8%	742
10	0403 脂質異常症	34,289,696	2.7%	998

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	45,279,588	13.0%	29
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	36,850,060	10.6%	95
3	1402 腎不全	23,819,020	6.8%	30
4	1113 その他の消化器系の疾患	14,424,174	4.1%	268
5	0903 その他の心疾患	14,153,931	4.1%	138
6	0906 脳梗塞	12,264,235	3.5%	59
7	0606 その他の神経系の疾患	9,531,413	2.7%	158
8	1011 その他の呼吸器系の疾患	8,197,456	2.3%	144
9	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	8,092,324	2.3%	15
10	0901 高血圧性疾患	7,833,233	2.2%	218

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

夷隅地区	大原地区	岬地区	その他
------	------	-----	-----

【夷隅地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0402 糖尿病	37,228,441	787	44.1%
2	0901 高血圧性疾患	30,028,774	752	42.1%
3	1113 その他の消化器系の疾患	19,052,709	602	33.7%
4	0403 脂質異常症	18,881,852	578	32.4%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,689,992	557	31.2%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	5,225,028	456	25.5%
7	0903 その他の心疾患	21,185,920	451	25.3%
8	0606 その他の神経系の疾患	16,332,196	382	21.4%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	10,115,011	367	20.6%
10	1006 アレルギー性鼻炎	5,017,393	356	19.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【大原地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0402 糖尿病	110,925,603	2,266	42.7%
2	0901 高血圧性疾患	97,074,614	2,095	39.5%
3	1113 その他の消化器系の疾患	70,346,282	1,762	33.2%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24,920,666	1,634	30.8%
5	0403 脂質異常症	57,088,016	1,545	29.1%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	19,654,571	1,381	26.0%
7	1006 アレルギー性鼻炎	16,389,395	1,335	25.2%
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	24,735,405	1,169	22.0%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	11,855,481	1,157	21.8%
10	0606 その他の神経系の疾患	42,421,107	1,117	21.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

夷隅地区	大原地区	岬地区	その他
------	------	-----	-----

【岬地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	74,284,510	1,490	37.4%
2	0901 高血圧性疾患	61,196,670	1,389	34.9%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,950,382	1,253	31.5%
4	1113 その他の消化器系の疾患	55,840,037	1,150	28.9%
5	0403 脂質異常症	34,289,696	998	25.1%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	11,052,805	957	24.0%
7	1202 皮膚炎及び湿疹	8,910,749	851	21.4%
8	1006 アレルギー性鼻炎	11,498,576	819	20.6%
9	1011 その他の呼吸器系の疾患	18,906,191	773	19.4%
10	0606 その他の神経系の疾患	36,559,833	742	18.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,069,514	270	33.3%
2	1113 その他の消化器系の疾患	14,424,174	268	33.0%
3	0402 糖尿病	7,795,977	225	27.7%
4	0901 高血圧性疾患	7,833,233	218	26.9%
5	1202 皮膚炎及び湿疹	1,824,033	173	21.3%
6	0606 その他の神経系の疾患	9,531,413	158	19.5%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,852,643	157	19.4%
8	0403 脂質異常症	3,720,078	154	19.0%
9	1006 アレルギー性鼻炎	1,882,636	152	18.7%
10	1011 その他の呼吸器系の疾患	8,197,456	144	17.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

年度別 特定健康診査結果分析

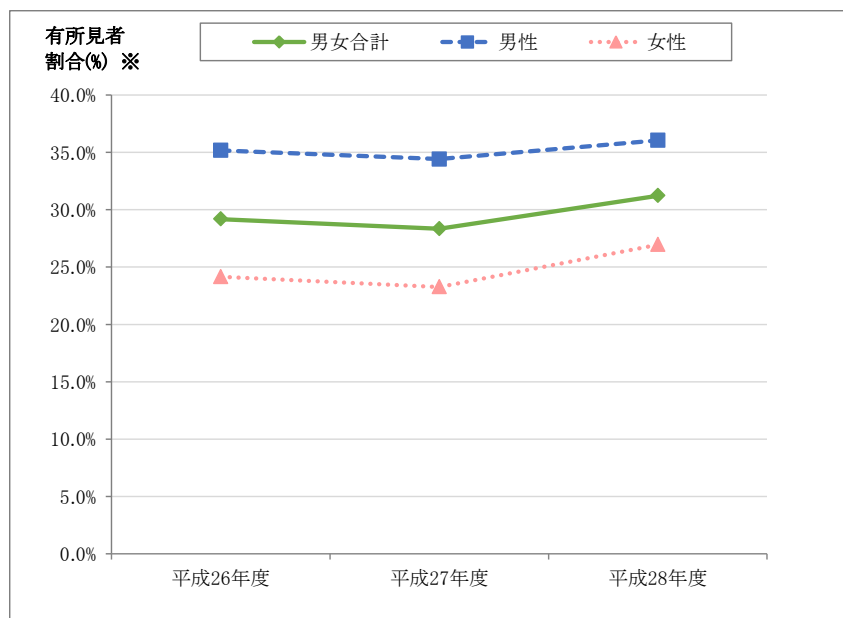
1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,293	3,120	3,274
	有所見者数(人) ※	961	884	1,022
	有所見者割合(%) ※	29.2%	28.3%	31.2%
男性	対象者数(人) ※	1,504	1,418	1,534
	有所見者数(人) ※	529	488	553
	有所見者割合(%) ※	35.2%	34.4%	36.0%
女性	対象者数(人) ※	1,789	1,702	1,740
	有所見者数(人) ※	432	396	469
	有所見者割合(%) ※	24.1%	23.3%	27.0%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

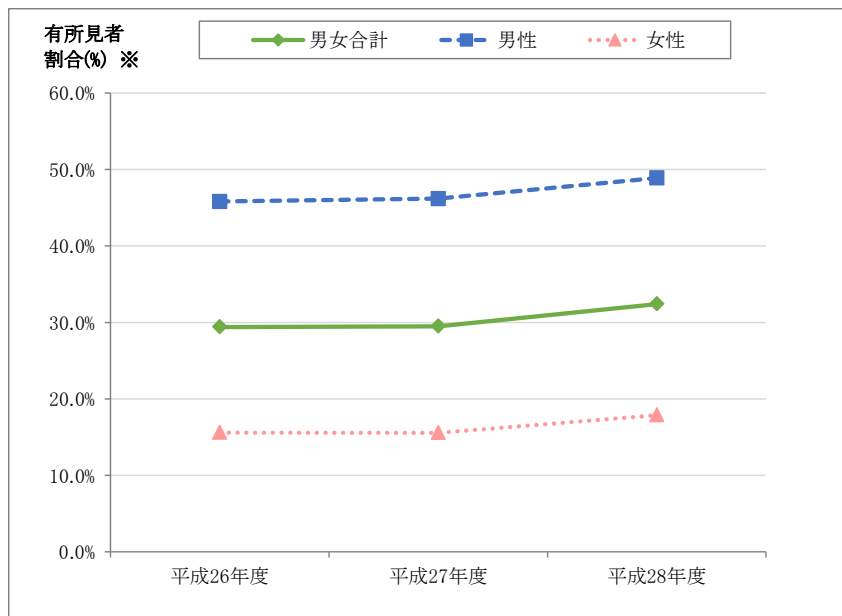
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,293	3,120	3,274
	有所見者数(人) ※	968	920	1,061
	有所見者割合(%) ※	29.4%	29.5%	32.4%
男性	対象者数(人) ※	1,504	1,418	1,534
	有所見者数(人) ※	689	655	750
	有所見者割合(%) ※	45.8%	46.2%	48.9%
女性	対象者数(人) ※	1,789	1,702	1,740
	有所見者数(人) ※	279	265	311
	有所見者割合(%) ※	15.6%	15.6%	17.9%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

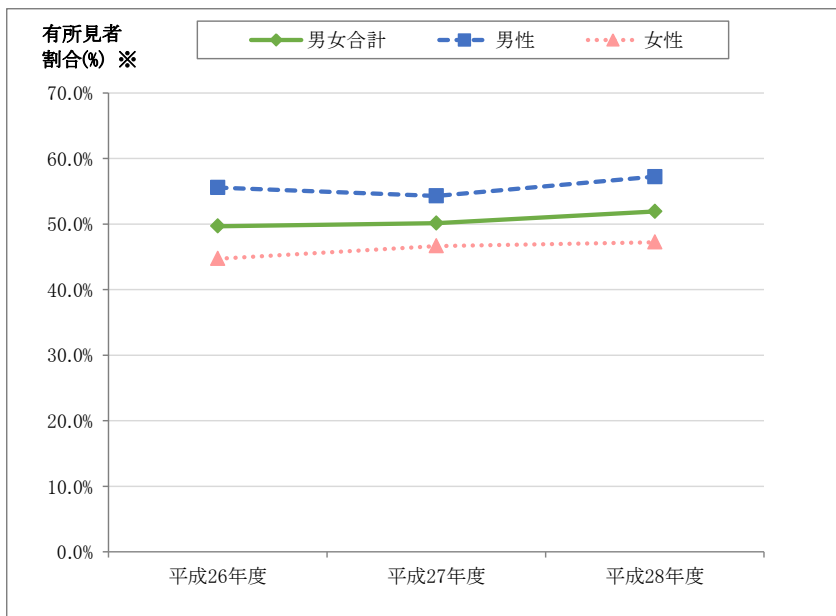
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,293	3,120	3,274
	有所見者数(人) ※	1,636	1,564	1,700
	有所見者割合(%) ※	49.7%	50.1%	51.9%
男性	対象者数(人) ※	1,504	1,418	1,534
	有所見者数(人) ※	836	770	878
	有所見者割合(%) ※	55.6%	54.3%	57.2%
女性	対象者数(人) ※	1,789	1,702	1,740
	有所見者数(人) ※	800	794	822
	有所見者割合(%) ※	44.7%	46.7%	47.2%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

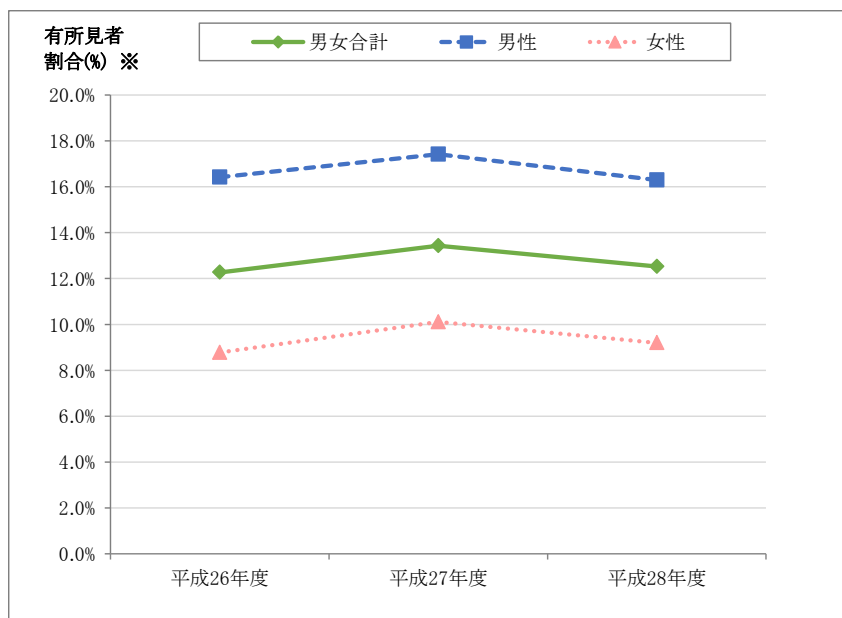
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,293	3,120	3,274
	有所見者数(人) ※	404	419	410
	有所見者割合(%) ※	12.3%	13.4%	12.5%
男性	対象者数(人) ※	1,504	1,418	1,534
	有所見者数(人) ※	247	247	250
	有所見者割合(%) ※	16.4%	17.4%	16.3%
女性	対象者数(人) ※	1,789	1,702	1,740
	有所見者数(人) ※	157	172	160
	有所見者割合(%) ※	8.8%	10.1%	9.2%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

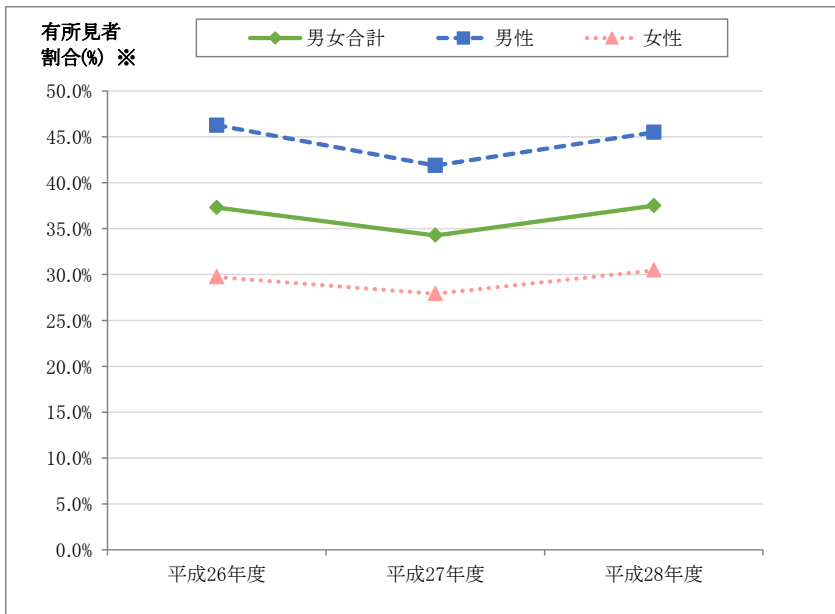
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,293	3,120	3,274
	有所見者数(人) ※	1,228	1,069	1,228
	有所見者割合(%) ※	37.3%	34.3%	37.5%
男性	対象者数(人) ※	1,504	1,418	1,534
	有所見者数(人) ※	696	594	698
	有所見者割合(%) ※	46.3%	41.9%	45.5%
女性	対象者数(人) ※	1,789	1,702	1,740
	有所見者数(人) ※	532	475	530
	有所見者割合(%) ※	29.7%	27.9%	30.5%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

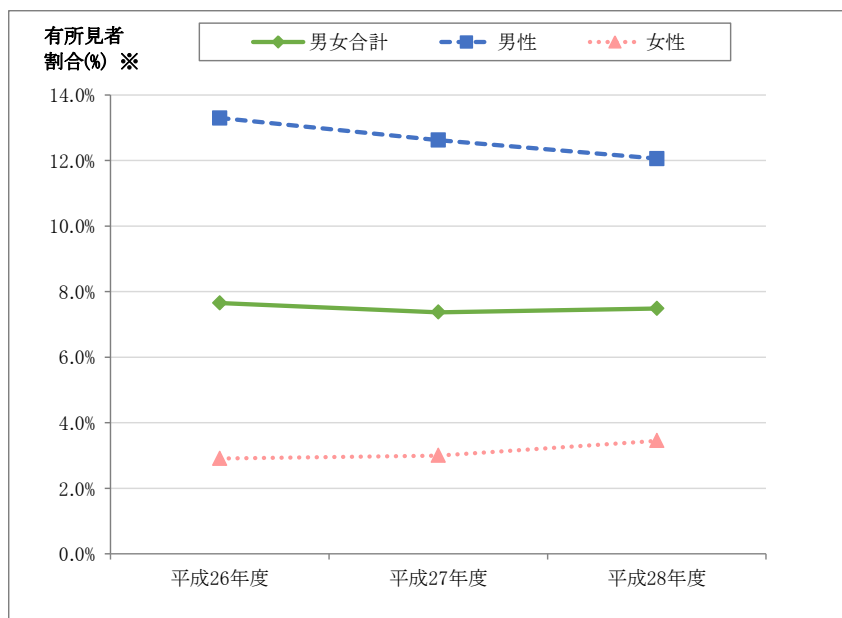
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,293	3,120	3,274
	有所見者数(人) ※	252	230	245
	有所見者割合(%) ※	7.7%	7.4%	7.5%
男性	対象者数(人) ※	1,504	1,418	1,534
	有所見者数(人) ※	200	179	185
	有所見者割合(%) ※	13.3%	12.6%	12.1%
女性	対象者数(人) ※	1,789	1,702	1,740
	有所見者数(人) ※	52	51	60
	有所見者割合(%) ※	2.9%	3.0%	3.4%

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

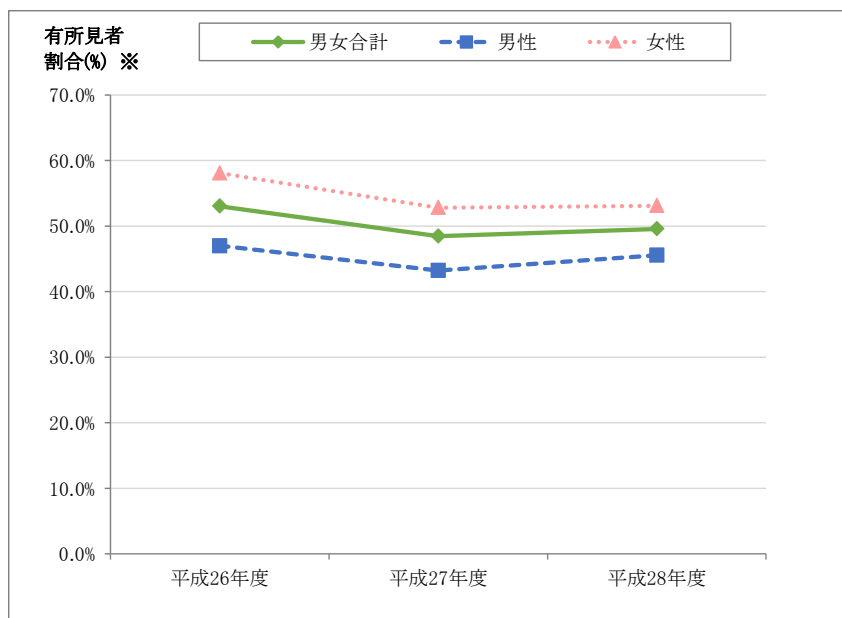
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,293	3,120	3,274
	有所見者数(人) ※	1,746	1,512	1,623
	有所見者割合(%) ※	53.0%	48.5%	49.6%
男性	対象者数(人) ※	1,504	1,418	1,534
	有所見者数(人) ※	707	613	699
	有所見者割合(%) ※	47.0%	43.2%	45.6%
女性	対象者数(人) ※	1,789	1,702	1,740
	有所見者数(人) ※	1,039	899	924
	有所見者割合(%) ※	58.1%	52.8%	53.1%

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

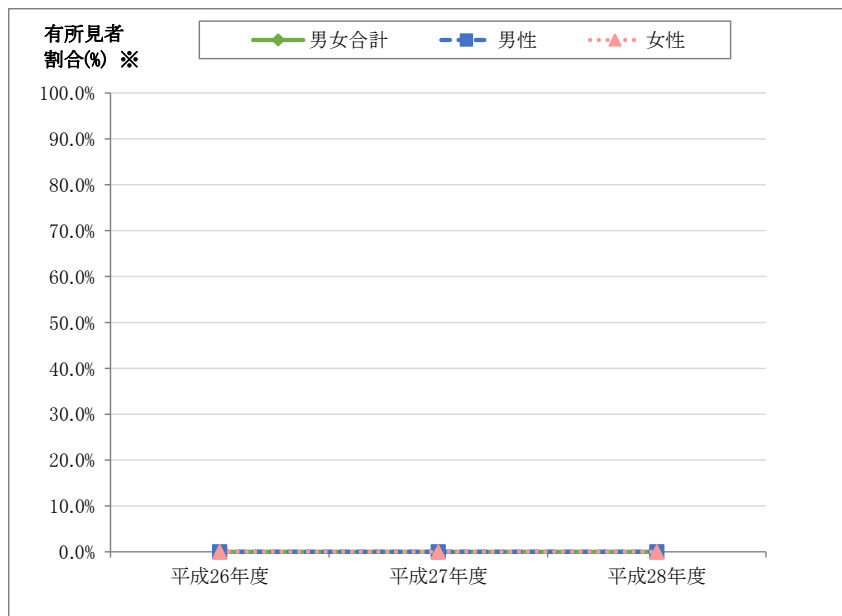
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	0	0	0
	有所見者数(人) ※	0	0	0
	有所見者割合(%) ※	0.0%	0.0%	0.0%
男性	対象者数(人) ※	0	0	0
	有所見者数(人) ※	0	0	0
	有所見者割合(%) ※	0.0%	0.0%	0.0%
女性	対象者数(人) ※	0	0	0
	有所見者数(人) ※	0	0	0
	有所見者割合(%) ※	0.0%	0.0%	0.0%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

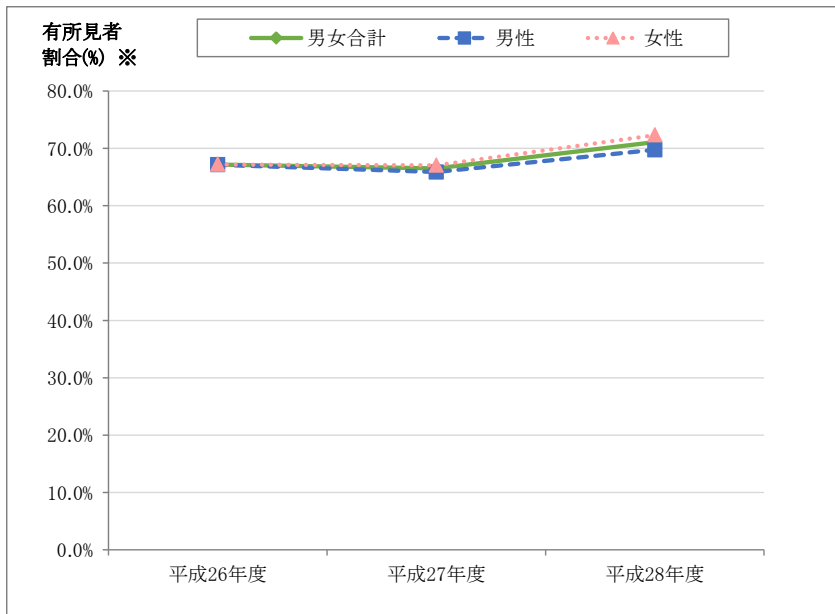
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,293	3,120	3,274
	有所見者数(人) ※	2,212	2,075	2,328
	有所見者割合(%) ※	67.2%	66.5%	71.1%
男性	対象者数(人) ※	1,504	1,418	1,534
	有所見者数(人) ※	1,010	934	1,070
	有所見者割合(%) ※	67.2%	65.9%	69.8%
女性	対象者数(人) ※	1,789	1,702	1,740
	有所見者数(人) ※	1,202	1,141	1,258
	有所見者割合(%) ※	67.2%	67.0%	72.3%

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

2. 質問別回答状況

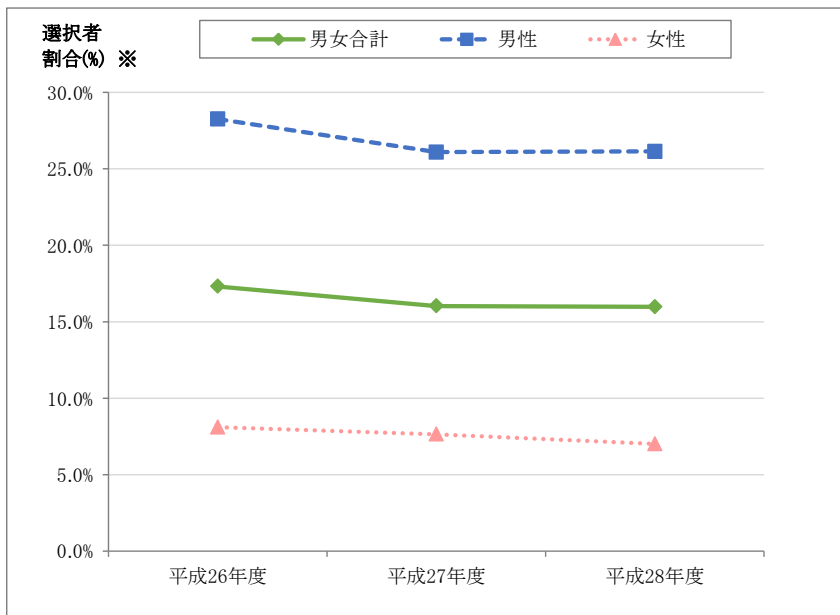
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,293	3,120	3,274
	選択者数(人) ※	570	500	523
	選択者割合(%) ※	17.3%	16.0%	16.0%
男性	質問回答者数(人) ※	1,504	1,418	1,534
	選択者数(人) ※	425	370	401
	選択者割合(%) ※	28.3%	26.1%	26.1%
女性	質問回答者数(人) ※	1,789	1,702	1,740
	選択者数(人) ※	145	130	122
	選択者割合(%) ※	8.1%	7.6%	7.0%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

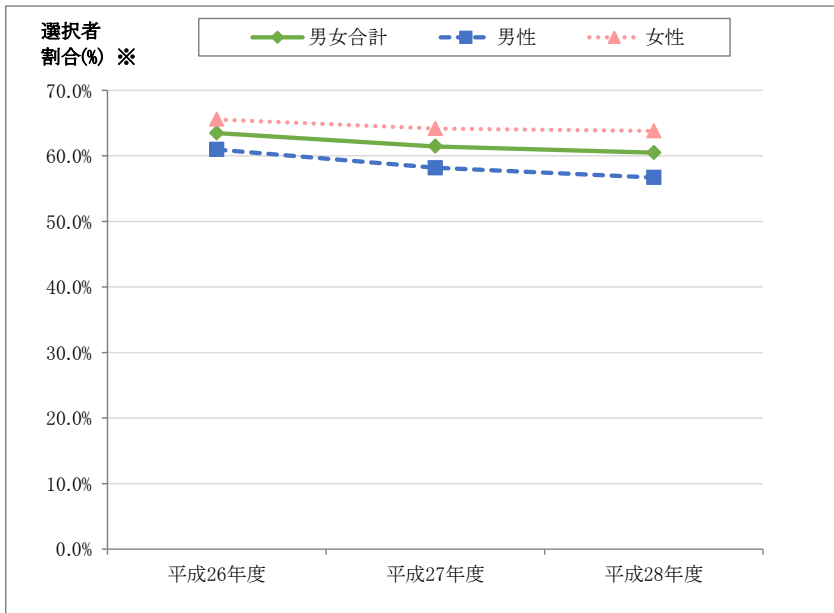
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,293	3,120	3,274
	選択者数(人) ※	2,090	1,917	1,980
	選択者割合(%) ※	63.5%	61.4%	60.5%
男性	質問回答者数(人) ※	1,504	1,418	1,534
	選択者数(人) ※	917	825	870
	選択者割合(%) ※	61.0%	58.2%	56.7%
女性	質問回答者数(人) ※	1,789	1,702	1,740
	選択者数(人) ※	1,173	1,092	1,110
	選択者割合(%) ※	65.6%	64.2%	63.8%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

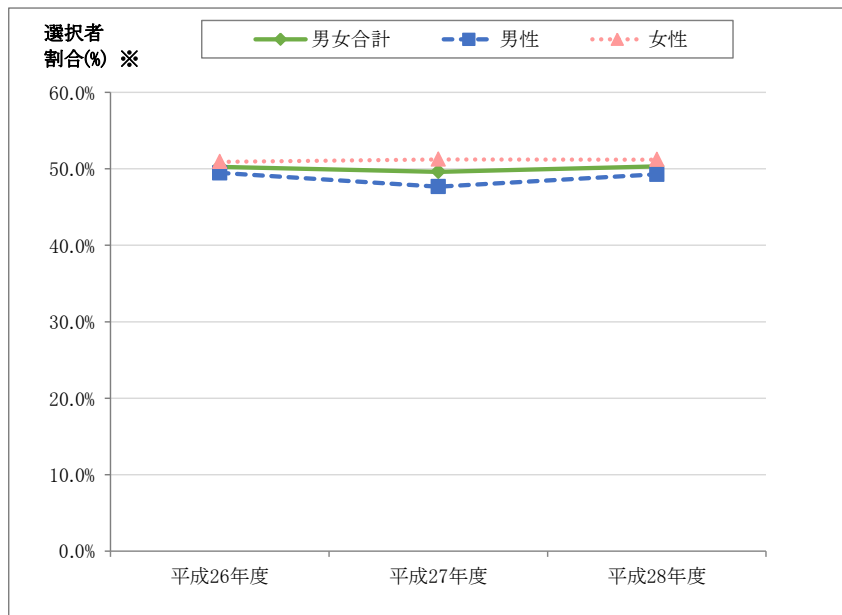
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,293	3,120	3,274
	選択者数(人) ※	1,655	1,548	1,647
	選択者割合(%) ※	50.3%	49.6%	50.3%
男性	質問回答者数(人) ※	1,504	1,418	1,534
	選択者数(人) ※	744	676	756
	選択者割合(%) ※	49.5%	47.7%	49.3%
女性	質問回答者数(人) ※	1,789	1,702	1,740
	選択者数(人) ※	911	872	891
	選択者割合(%) ※	50.9%	51.2%	51.2%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

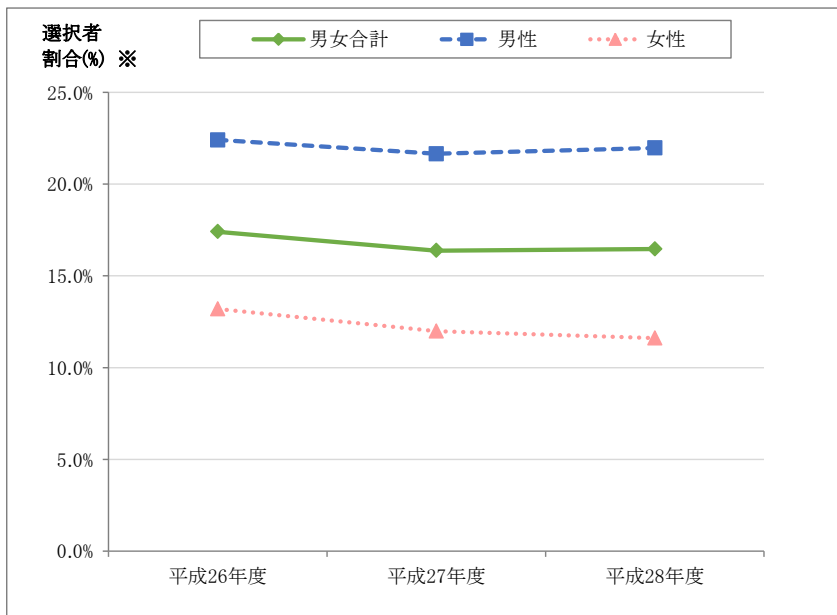
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,293	3,120	3,274
	選択者数(人) ※	573	511	539
	選択者割合(%) ※	17.4%	16.4%	16.5%
男性	質問回答者数(人) ※	1,504	1,418	1,534
	選択者数(人) ※	337	307	337
	選択者割合(%) ※	22.4%	21.7%	22.0%
女性	質問回答者数(人) ※	1,789	1,702	1,740
	選択者数(人) ※	236	204	202
	選択者割合(%) ※	13.2%	12.0%	11.6%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

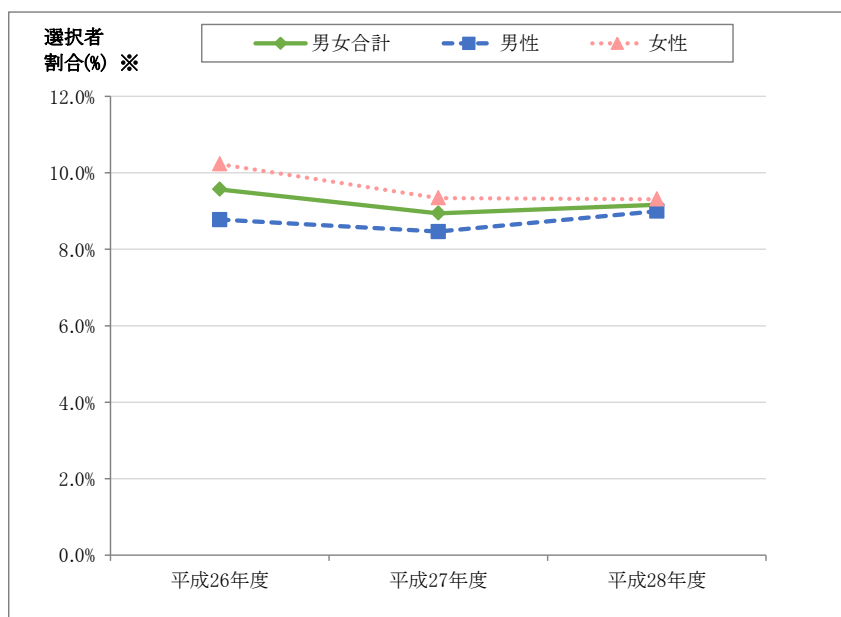
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,293	3,120	3,274
	選択者数(人) ※	315	279	300
	選択者割合(%) ※	9.6%	8.9%	9.2%
男性	質問回答者数(人) ※	1,504	1,418	1,534
	選択者数(人) ※	132	120	138
	選択者割合(%) ※	8.8%	8.5%	9.0%
女性	質問回答者数(人) ※	1,789	1,702	1,740
	選択者数(人) ※	183	159	162
	選択者割合(%) ※	10.2%	9.3%	9.3%

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

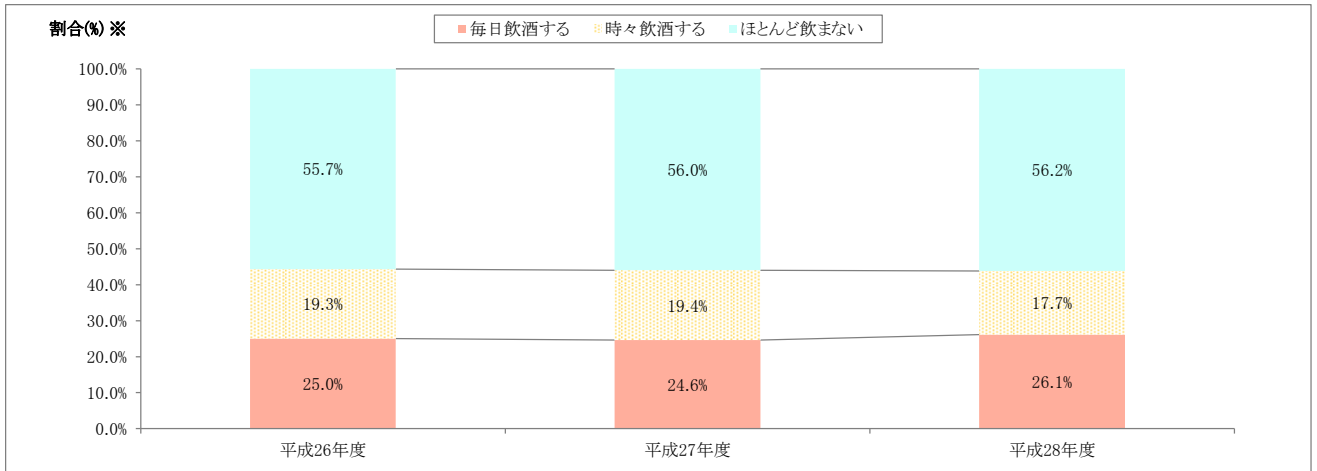
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

④ 飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,293	823	25.0%	636	19.3%	1,834	55.7%
平成27年度	3,120	768	24.6%	606	19.4%	1,746	56.0%
平成28年度	3,274	855	26.1%	579	17.7%	1,840	56.2%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

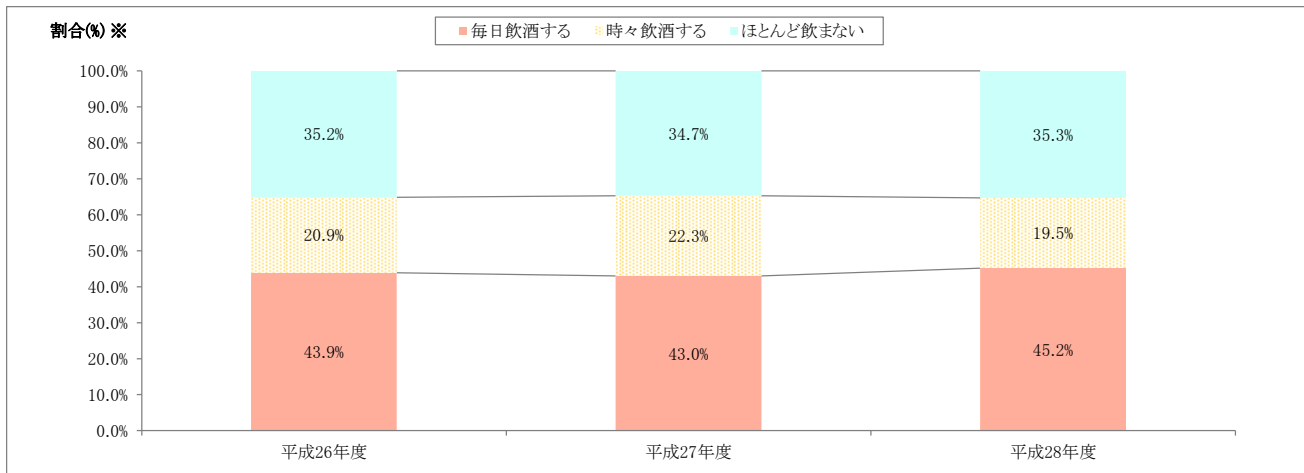
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,504	660	43.9%	315	20.9%	529	35.2%
平成27年度	1,418	610	43.0%	316	22.3%	492	34.7%
平成28年度	1,534	693	45.2%	299	19.5%	542	35.3%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

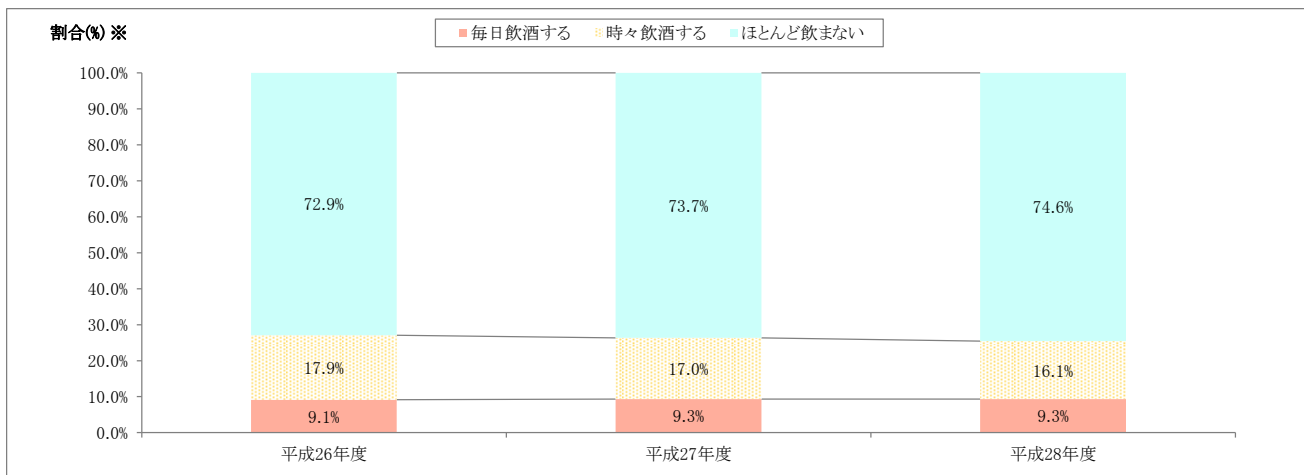
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,789	163	9.1%	321	17.9%	1,305	72.9%
平成27年度	1,702	158	9.3%	290	17.0%	1,254	73.7%
平成28年度	1,740	162	9.3%	280	16.1%	1,298	74.6%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

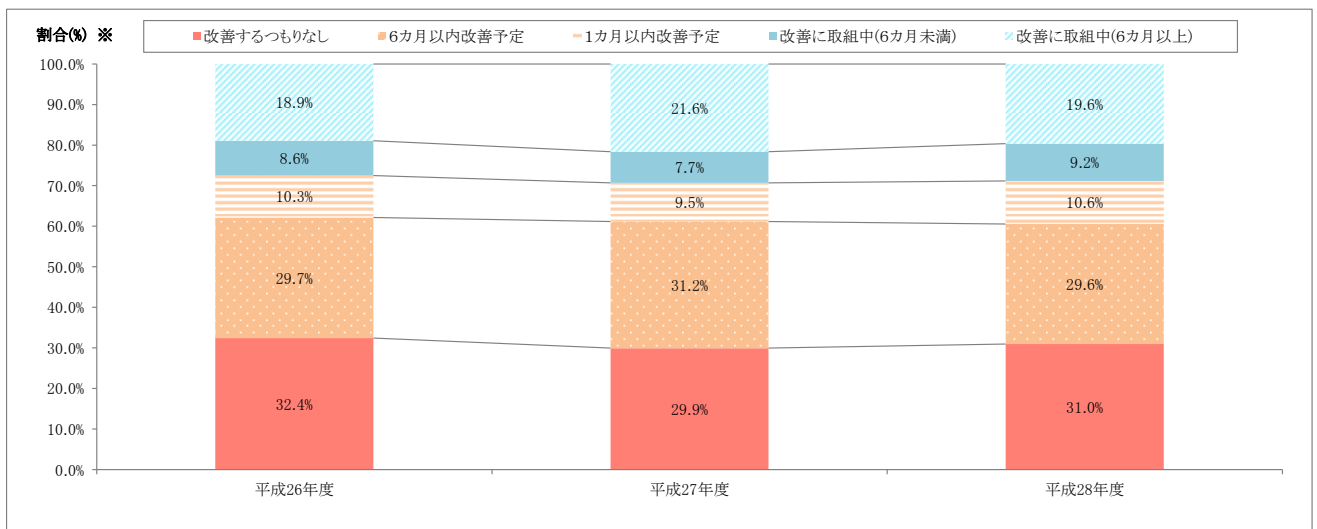
⑤生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,293	1,068	32.4%	979	29.7%	340	10.3%
平成27年度	3,120	934	29.9%	974	31.2%	297	9.5%
平成28年度	3,274	1,014	31.0%	968	29.6%	348	10.6%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,293	283	8.6%	623	18.9%
平成27年度	3,120	240	7.7%	675	21.6%
平成28年度	3,274	301	9.2%	643	19.6%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

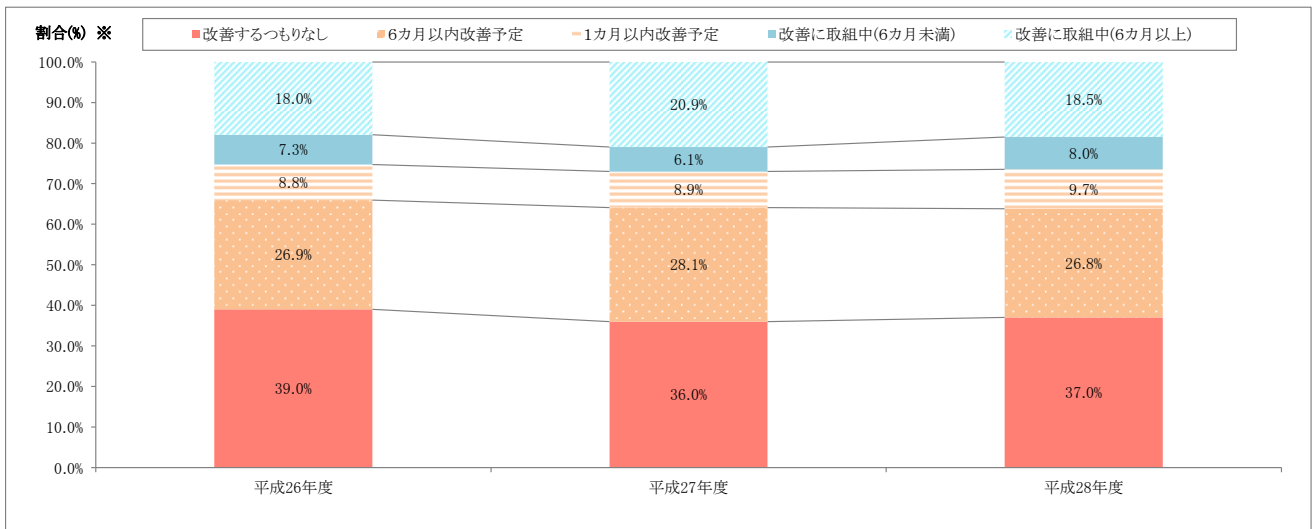
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,504	587	39.0%	405	26.9%	132	8.8%
平成27年度	1,418	510	36.0%	399	28.1%	126	8.9%
平成28年度	1,534	568	37.0%	411	26.8%	149	9.7%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,504	110	7.3%	270	18.0%
平成27年度	1,418	86	6.1%	297	20.9%
平成28年度	1,534	122	8.0%	284	18.5%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

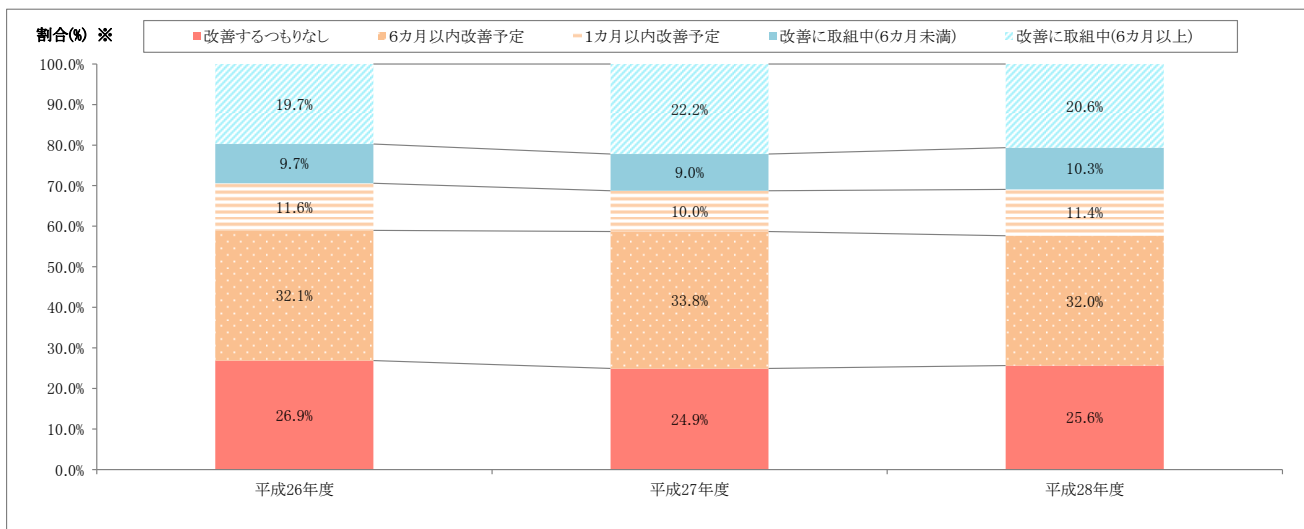
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,789	481	26.9%	574	32.1%	208	11.6%
平成27年度	1,702	424	24.9%	575	33.8%	171	10.0%
平成28年度	1,740	446	25.6%	557	32.0%	199	11.4%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,789	173	9.7%	353	19.7%
平成27年度	1,702	154	9.0%	378	22.2%
平成28年度	1,740	179	10.3%	359	20.6%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

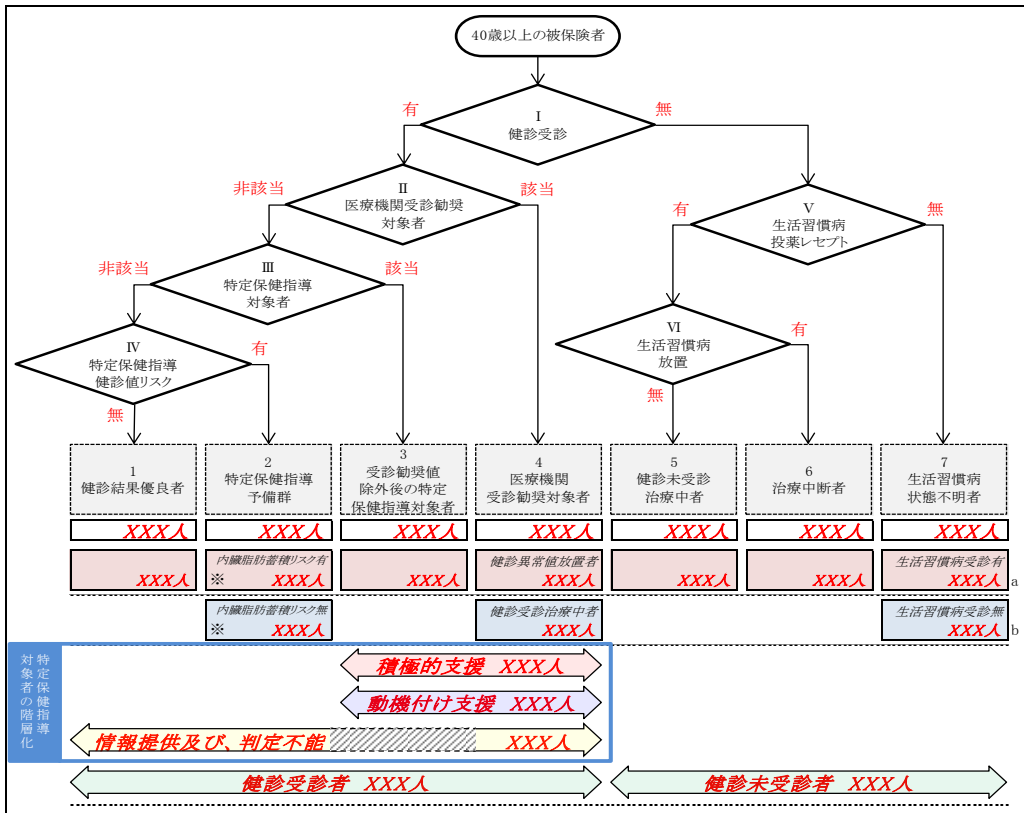
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診** ……健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者** ……健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者** ……厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク** ……厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト** ……生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置** ……生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 ……保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 ……保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 内臓脂肪蓄積リスク有 ……「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 内臓脂肪蓄積リスク無 ……「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 ……受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者
 健診異常値放置者 ……「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 健診受診治療中者 ……「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 ……生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 ……過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病投薬レセプト ……生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 生活習慣病受診有 ……「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 生活習慣病受診無 ……「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻疹後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他 ^の 新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の痙攣性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び靭様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎□アルコール性のものを除く)	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変□アルコール性のものを除く)	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		